



## 第2節 暮らしの豊かさをより積極的に 味わうことのできるゆとりある「ふくしま」

今後、社会の成熟化の中で個性や多様な価値観をこれまで以上に尊重した県づくりを進めていくことが求められています。特に、広大な県土面積や多様な自然的・社会的条件を有する本県にあっては、それぞれの生活圏に住む人があまねく安全で安心できる生活を享受し、自分らしくいきいきとくらし、その能力を十分に発揮できるようにしていくことが重要です。

そして、人格や人権を尊重した公平で安全な生活空間づくりを進めていくことで、21世紀という新しい時代の中で本県が世界をリードしていきたいと考えます。

このため、「暮らしの豊かさをより積極的に味わうことのできるゆとりある『ふくしま』」をめざして、人それぞれの生活をどう支えていくのかという観点から、県民一人ひとりが大切にされ、ともにくらししていける社会の形成に関する施策、ゆとりと豊かさに満ちた成熟社会の形成に関する施策、心身ともに健やかなくらしの実現のための施策、安全で安心できる生活の確保に関する施策及びこれらに関連するさまざまな基盤づくりのための施策の5つに体系化し、総合的に取り組んでいきます。

- 1 ともに生きる社会の形成のために
- 2 ゆとりと豊かさに満ちた多彩なくらしの展開のために
- 3 生涯にわたる健康なくらしの確保のために
- 4 安全が確保され、安心できるくらしの実現のために
- 5 くらしを支える多様な基盤の形成のために



**ともに生きる社会の形成のために**

性別や障害の有無等に関係なくすべての県民が、自らの選択によりその能力と意欲に応じて社会参加し、自己実現できる社会の形成をめざし、女性が能力を十分に発揮できる環境づくり、安心してくらせる福祉サービスの充実、高齢者・障害者の自立・社会参加の促進、子育て環境の整備などを図ります。

**ゆとりと豊かさに満ちた多彩な暮らしの展開のために**

経済的な豊かさだけでなく、多様な価値観を充足できる生活の実現をめざし、多様な選択を可能とする就業条件と働きやすい環境の整備、地域文化活動の振興、生涯を通じてスポーツやレクリエーションに親しめる環境づくり、さまざまな地域づくり活動の活性化などを図ります。

**生涯にわたる健康な暮らしの確保のために**

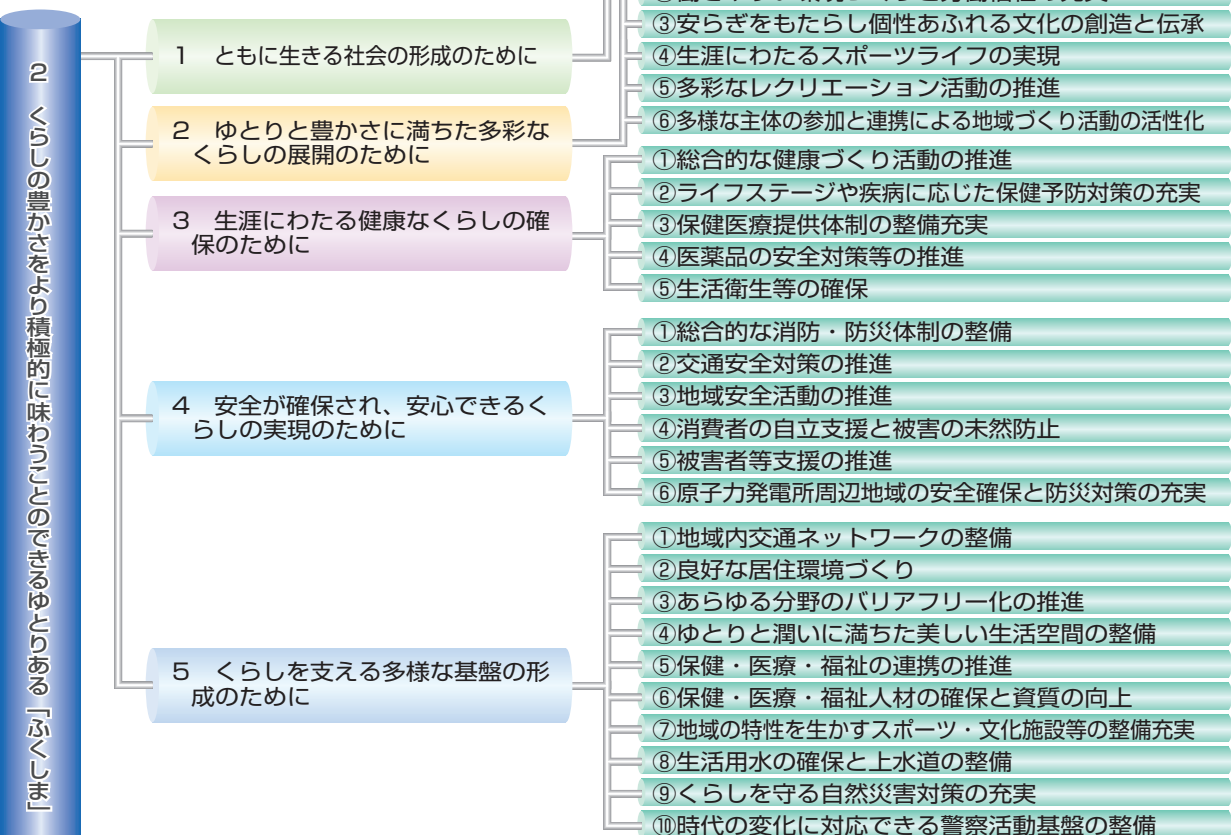
県民が心身ともに健やかで活力ある社会の形成をめざし、総合的な健康づくり活動の推進、保健予防対策の充実、保健医療サービス提供体制の整備充実などを図ります。

**安全が確保され、安心できる暮らしの実現のために**

県民の生命と財産を守り、安心してくらせる社会の実現をめざし、総合的な消防・防災体制の整備、交通安全対策の推進、地域安全活動の推進などを図ります。

**暮らしを支える多様な基盤の形成のために**

多様な価値観に根ざした個性ある暮らしが可能となる社会づくりを着実に推進していくにあたっての基礎となるさまざまな環境の整備をめざし、各種施設や生活基盤の整備、ソフト面での基盤づくりを進めます。

**施策体系**

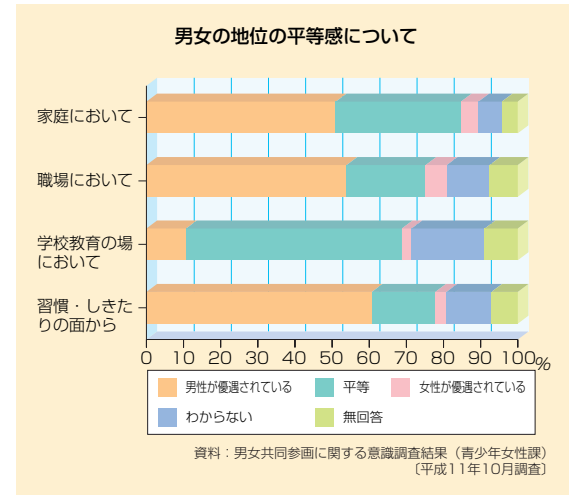


## 2-1-① 男女の人権が尊重され、ともに参画する社会の形成

### 施策の基本方向

未来に向けて、豊かで活力ある社会を築いていくためには、男女が自らの選択により、性別にかかわらず、それぞれの個性と能力を発揮しながら社会のさまざまな分野に対等なパートナーとして参画していくことが大切です。

このため、社会全体の意識改革や、さまざまな意思決定過程への男女の共同参画の拡大を進めるとともに、性別にかかわらず家庭生活と職業生活が両立できる環境づくりや、女性の人権が守られる環境の整備を推進します。



### 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
男女共同参画に向けての意識改革等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆男女共同参画について広く県民の理解と協力を得るため、各界各層との連携による普及啓発を推進します。</li> <li>◆学校教育全体を通じて、人権の尊重、男女の平等、相互理解・協力についての指導を充実させるとともに、教材における配慮や教員研修の充実等に努めます。</li> <li>◆女性が性別による差別的取扱いを受けることのないよう、法律等によって保障された権利や、権利が侵害された場合の対応策等についての知識の普及を図ります。</li> <li>◆男女平等の視点に立って各種の社会制度や慣行を点検するとともに、その改善方策についての調査研究に基づき、実践的な取組みを進めます。</li> </ul>
家庭生活と職業生活の両立支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆性別にかかわらず、家庭生活と職業生活の両立ができるよう、育児・介護のための短時間勤務、在宅勤務等柔軟な働き方の普及を図るとともに、パートタイム、契約労働、派遣労働者の労働条件の改善に向けた取組みを促進します。</li> <li>◆家事、育児、介護など家庭生活における男女の相互協力について意識の啓発を進めるとともに、子育てや家族介護についての社会的支援を充実します。</li> <li>◆女性に偏重している育児・介護を改善するため、職場中心の男性の意識・ライフスタイルを改め、男女の地域活動への積極的な参加促進を図ります。</li> </ul>
意思決定過程への男女の共同参画の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆政策等の立案や意思決定の場への女性の参画を拡大するため、地方自治体の各種審議会等への女性委員の登用を促進するとともに、女性公務員の業務分担の多様化や管理職への登用などを進めます。</li> </ul>



項 目	施 策 の 方 向
<p>女性の人権が守られる環境の整備</p> <p>推進体制の整備等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆あらゆる組織において男女の共同参画による意思決定がなされるよう、募集や採用時における女性への不当な差別の解消や、管理職や役員等への女性の登用について企業や各種団体等に幅広く働きかけます。</li> <li>◆家族経営協定の推進を図るなど、農林水産業や自営業における女性の経営参画を促進します。</li> <li>◆女性に対する暴力根絶に向けた啓発や、夫などからの暴力に対する厳正な対処などにより、女性への暴力の発生を防ぐ環境づくりを進めます。</li> <li>◆各種メディア等に対して、性・暴力表現や男女の固定的役割を温存する表現等の是正に向けた主体的取組みを要請するとともに、視聴者や読者がメディアの内容を主体的に読み解く能力についての普及啓発を図ります。</li> <li>◆女性のさまざまな問題に対応できる相談体制の充実を図るとともに、暴力などの人権侵害を受けた女性を一時保護し、必要に応じて継続的な自立支援を行う体制の充実を図ります。</li> <li>◆男女共同参画に向けた行政、県民、企業、団体等の連携を強化するとともに、実践的活動の拠点である福島県男女共生センターの有効活用を促進します。</li> <li>◆男女の人権が尊重され、ともに参画する社会の形成のため、本県としての基本的理念や県民の役割などを盛り込んだ条例を制定し、本県の男女共同参画を総合的、計画的に推進します。</li> </ul>



高校の保育実習



福島県男女共生センター



男女共同参画についてのワークショップ

男女共生センターでの相談  
(相談者、相談員はモデルです)

家族経営協定調印式

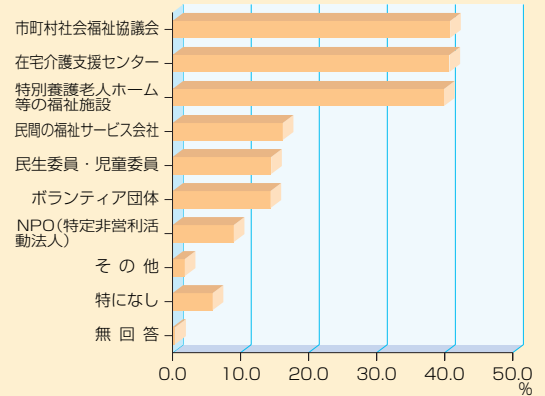


## 2-1-② とともに支え合う地域福祉の推進

### 施策の基本方向

多様化・高度化しつつ、増大する県民の福祉ニーズに的確に対応するため、住民の主体的な参画も得ながら、多様な主体の参画による地域福祉活動の展開を図るとともに、地域において必要な福祉サービスが総合的に提供される体制の整備を図り、すべての県民がともに支え合う地域福祉を推進します。

地域福祉サービスを充実させるために期待する人・団体



資料：県民の保健福祉に関する意識調査結果(平成11年12月調査、複数回答有)

### 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
地域福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市町村社会福祉協議会を中心として、地域の実情に応じた在宅福祉サービスの実施促進を図るとともに、住民参加による福祉のまちづくりを推進します。</li> <li>◆保健、医療との連携を図りながら、多元的な提供主体による在宅福祉サービスの充実を支援するとともに、福祉施設の機能を充実し、地域福祉の資源としての活用を促進します。</li> </ul>
福祉サービス利用基盤の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆福祉サービスが利用者と事業者の契約に基づく利用制度に変わりつつあることから、サービスの公正な評価システムの確立やサービスに関する苦情を公平かつ円滑に解決する体制の整備を図るとともに、判断力が不十分な人のサービス利用等を支援する体制の整備を図ります。</li> <li>◆各種の在宅福祉サービスについて、より利用しやすい制度への見直しを推進するとともに、個々人に対するサービスの適切なコーディネート機能の充実を図ります。</li> </ul>
地域福祉推進体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆住民の多様な福祉ニーズを早期から的確に把握し、迅速に対応するための地域福祉ネットワークづくりを促進します。</li> <li>◆地域におけるさまざまな福祉活動の組織化を図るとともに、地域福祉活動の中核的組織である社会福祉協議会の強化を図ります。</li> <li>◆民生・児童委員や身近な相談機関による相談・情報提供体制の充実を図ります。</li> </ul>
県立社会福祉施設の整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各施設に対するニーズの変化を踏まえ、民間施設と役割分担しながら、それぞれの設置目的に沿った適切かつ効率的な運営に努めます。</li> <li>◆時代の要請を踏まえた今後の施設の在り方について検討を加えながら、老朽化した施設の改築整備を計画的に進めます。</li> <li>◆総合社会福祉施設「太陽の国」について、常時医療との連携による専門的処遇を必要とする利用者の受入れなど、多様化するニーズに対応できる総合型施設として計画的な改築整備を進めるとともに、地域との交流促進、処遇等の実践的な分野における研修機能の強化に努めます。</li> </ul>



ボランティアによる入浴の介助

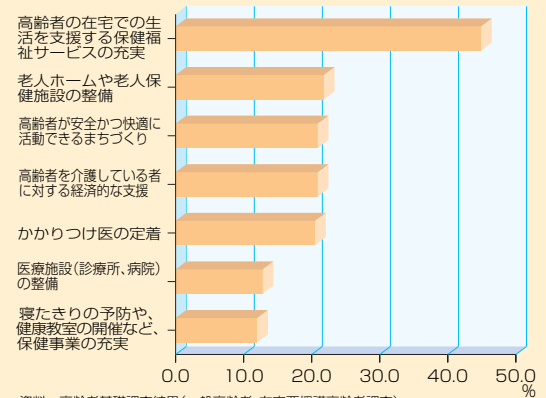


## 2-1-③ 高齢者保健福祉サービスの充実

## 施策の基本方向

高齢化が進行する中で、すべての高齢者が、いつでも、どこでも、自らの選択に基づき、必要とする高齢者保健福祉サービスを利用できるようにするため、介護保険制度に基づいて要介護高齢者に提供される各種サービスに係る基盤整備を計画的に進めるとともに、高齢者が要介護状態にならないようにするためのサービスや生活支援のためのサービスなど、介護保険の対象とならないサービスについても充実を図ります。

高齢社会に向けて充実すべきだと思うもの(上位7項目)



## 施策の展開

## 項 目

## 施 策 の 方 向

介護保険制度の円滑な運営

- ◆広域的な調整を図りながら、介護老人福祉施設等の入所施設の整備を進めるとともに、在宅サービス提供基盤や身近でサービス利用ができる通所施設の整備を進めます。
- ◆過疎地域などの単独町村では介護基盤の整備が困難な地域に対しては、広域的な対応によるサービス提供体制の整備に向けた支援を行います。
- ◆公正・公平な要介護認定がなされるよう、認定調査員等に対する研修の充実を図ります。
- ◆利用者保護のため、苦情処理システムの構築を図るとともに事業者への適切な指導・監査を行い、適正なサービスの確保に努めます。



介護老人福祉施設

介護予防サービス等の充実

- ◆高齢者一人ひとりの健康度評価(ヘルスアセスメント)に基づいた適切な保健サービスが提供されるよう、老人保健対策の充実を図ります。
- ◆高齢者が要介護状態になることを予防するための取組みを促進するとともに、地域におけるリハビリテーション体制の整備を図ります。
- ◆要介護状態であるか否かにかかわらず、生活支援が必要な高齢者に対しては、配食サービスなど必要な在宅福祉サービスの提供やケアハウスなどの施設整備を促進します。
- ◆要介護高齢者の家族を対象とした健康管理サービスや介護技術の研修機会の提供などを促進します。

痴呆性高齢者対策の充実

- ◆痴呆症状に関する相談体制等を充実し、早期発見・早期対応による予防対策を進めるとともに、痴呆性高齢者ができる限り地域で自立した生活が送れるよう、症状や家族構成等に応じた支援体制の充実を図ります。
- ◆徘徊の習慣のある痴呆性高齢者について、早期発見による保護活動の充実強化を図ります。
- ◆重度の痴呆性高齢者の治療、療養、生活支援が適切に行われるよう、必要な施設整備を促進します。

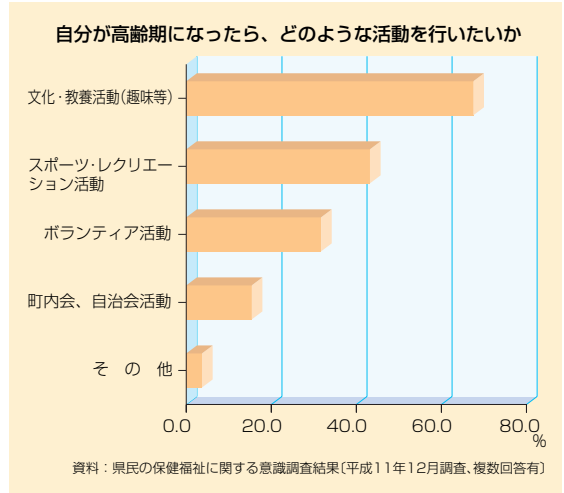


## 2-1-④ 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進

### 施策の基本方向

高齢者全体の約8割は、比較的元気な方々であり、高齢社会は健康で元気な高齢者が増加する社会でもあります。

こうした元気な高齢者が、生きがいを持って積極的に社会活動に参加できるよう、さまざまな環境整備を進めるとともに、働きたいという意向を持つ高齢者に対しては、その意欲や能力に応じた多様な就業機会の拡大に努めます。



### 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
社会参加活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢者が長年培った豊富な知識や経験を生かすことのできる多様な社会参加活動機会の提供に努めます。</li> <li>◆高齢者の生きがいづくりや社会参加活動を推進している老人クラブ、財団法人福島県長寿社会推進機構などの活動を支援します。</li> <li>◆平成14年にふれあいと活力ある長寿社会の形成を目的として第15回全国健康福祉祭ふくしま大会(うつくしまねりんピック2002)を開催し、これを契機に高齢者の社会参加等を一層積極的に促進します。</li> </ul>
多様な就業機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各種助成金制度の周知などにより、高齢者の継続雇用や再就職を促進するとともに、高齢者の職業能力の開発・向上を支援します。</li> <li>◆高齢者の雇用を促進するため、各種雇用情報の提供や職業相談の充実に努めるとともに、高齢者雇用に関する優良企業の表彰などにより、企業へ的高齢者雇用を勧奨します。</li> <li>◆シルバー人材センターなどの高年齢者に対する就業援助組織の育成・指導の充実強化を図ります。</li> <li>◆農業分野においては、農作業の負荷軽減に配慮した高齢者にやさしい生産方式の開発・普及に努めます。</li> </ul>

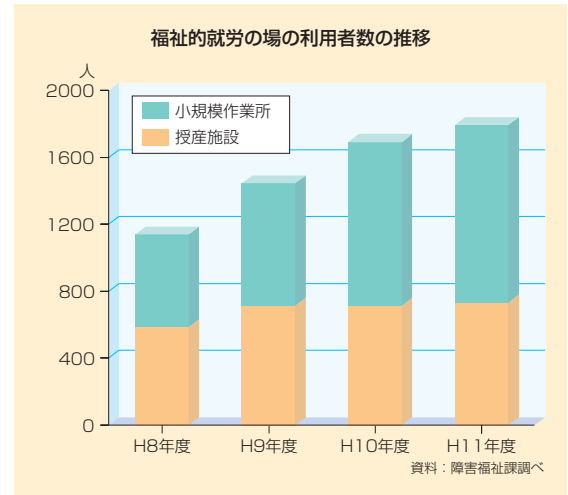


すこやか福島ねりんピック

## 2-1-⑤ 障害者の自立・社会参加の促進と障害者福祉サービスの充実

## 施策の基本方向

ともに生きる社会の実現に向けて、リハビリテーションとノーマライゼーションの理念の下、障害のある人もない人も等しく社会生活と社会の発展に全面的に参加し、社会発展の成果に等しくあずかる完全参加と平等をめざします。



## 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
自立の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆日常生活用具や補装具の給付、生活訓練の実施などにより、障害者の生活能力の向上を図るほか、医療費の自己負担の軽減等の支援を行います。</li> <li>◆グループホームや自立生活センターなど、地域における障害者の生活や活動の場の充実に努めます。</li> <li>◆障害者一人ひとりの特性やニーズに応じ、身近な地域で福祉サービスを提供できる体制づくりを推進します。</li> </ul>
社会参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆専門機関による各種相談や情報提供を促進するとともに、手話・点訳ボランティアの養成・派遣等により、障害者の社会参加環境の向上を図ります。</li> <li>◆障害者の健康増進や生きがいづくりのため、スポーツ・レクリエーション・文化活動、国際交流等の普及を図ります。</li> <li>◆障害者が高度情報社会に積極的に参加できるよう、障害の特性に応じた指導・援助等を推進します。</li> </ul>
就業機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆障害者の福祉的就労の場として、通所授産施設や小規模作業所の充実を図るとともに、授産関係施設のネットワーク化や授産施設への指導者の派遣などにより、授産活動の幅広い展開を支援します。</li> <li>◆障害者雇用に関する各種支援制度の周知や優良企業の表彰などにより、障害者の雇用拡大を促進します。</li> <li>◆障害者の就職相談や援助を総合的に行う障害者雇用支援センターの活動支援や民間企業との共同出資による重度障害者雇用企業の設立支援などにより障害者の雇用促進に努めます。</li> </ul>
在宅福祉サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆障害の状況や家庭の状況等に応じたホームヘルプサービスの充実を図ります。</li> <li>◆より身近な地域でサービスを受けられるよう、高齢者との相互利用にも配慮しながら、ショートステイやデイサービスの拡充を図ります。</li> <li>◆障害者福祉施設機能の地域開放を積極的に進めます。</li> </ul>
施設福祉サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆県内各圏域で、均衡のとれたサービスが受けられるよう、身体障害者療護施設の整備を促進し、入所待機者の解消を図ります。</li> <li>◆知的障害者の地域生活や、地域生活への移行を支援する通所型の施設整備を促進します。</li> <li>◆精神障害者の社会復帰のための基本的な生活訓練の場として、精神障害者生活訓練施設の整備を促進します。</li> </ul>





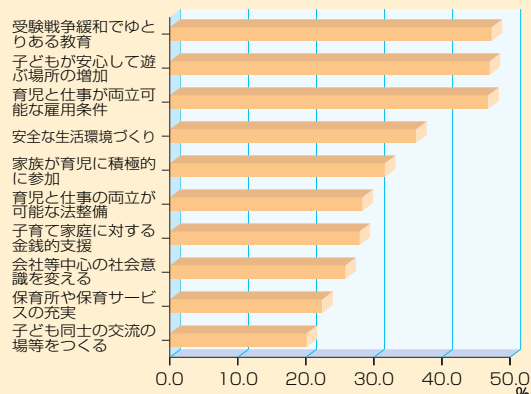
## 2-1-⑥ 子育て環境の整備と子どもの健全育成

### 施策の基本方向

少子化が進行する中、安心して子どもを生み育てることができる環境の整備が重要な課題となっています。また、次代を担う子どもたちが心身ともに健やかにのびのびと育つことができるような環境整備や子どもの人権に配慮した社会づくりも大切です。

このため、子育て家庭への支援を幅広く展開するとともに、子どもの権利にも配慮しながらその健全育成を進めていきます。

子育て環境を充実するために取り組むべきこと(上位10項目)



資料：子育て環境に関する意識調査結果(児童家庭課)  
(平成11年12月調査、複数回答有)

### 施策の展開

#### 項 目

#### 施 策 の 方 向

普及啓発の推進

- ◆社会全体で子育てを支援するという意識の醸成に向けて、市町村や民間団体等と連携しながら普及啓発を進めます。
- ◆児童の権利擁護の確立に向けて、普及啓発を進めます。

子育て家庭への支援


- ◆子育てと仕事の両立を支援するため、保護者のさまざまなニーズに応じた多様な保育サービスや幼稚園の預かり保育、小学生の放課後児童クラブなどの充実を図ります。
- ◆育児休業を取得しやすい職場づくりなど子育て家庭に配慮した労働条件の整備を促進するとともに、出産等を理由とした退職者の再就職を支援します。
- ◆子育ての悩みや不安を的確に受け止められる身近な相談支援体制の充実を図ります。
- ◆幼稚園や保育所を地域の子育て支援センターとして位置付け、親同士の交流機会や育児情報を提供するなど、その施設や機能を積極的に地域に開放して子育てを支援します。
- ◆福祉、保健、教育等の連携の下、地域ぐるみで子育てを支援するネットワークの整備を促進するとともに、子育てサークルなど子育て家庭の相互援助活動を支援します。
- ◆ひとり親家庭や障害のある子どもを持つ家庭などに対し、さまざまな福祉施策の充実に努めます。
- ◆心身障害児総合療育センターや児童相談所の専門機能を生かした総合療育体制の充実を図り、障害のある子どもを安心して育てられる環境整備を推進します。
- ◆良質なファミリー向け住宅の供給を促進するとともに、住宅と一体となった子育て支援施設の整備等を進めます。



元気に遊ぶ子どもたち

子どもの健全育成

- ◆子どもたちの意見も聴きながら、地域住民の積極的な参加による児童健全育成活動を促進します。
- ◆児童館等の充実・活用を促進するとともに、放課後や休日に幼稚園や小中学校を子どもの遊び場として開放するなどして身近な遊び場の確保を図ります。

項 目	施 策 の 方 向
子どもの人権擁護等	<p>◆虐待などにより保護や援助を必要とする子どもへの支援を拡充し、子どもの人権擁護に努めます。</p> <p>◆児童養護施設に入所している子どもたちが健やかに成育できるよう、処遇の充実に努めるとともに、地域との交流機会の拡充を図ります。</p>  <p>すくすくダイヤル</p>



家庭教育インストラクターの養成



児 童 館



地域子育て支援センター



放課後児童クラブ



子育てに配慮した公営住宅



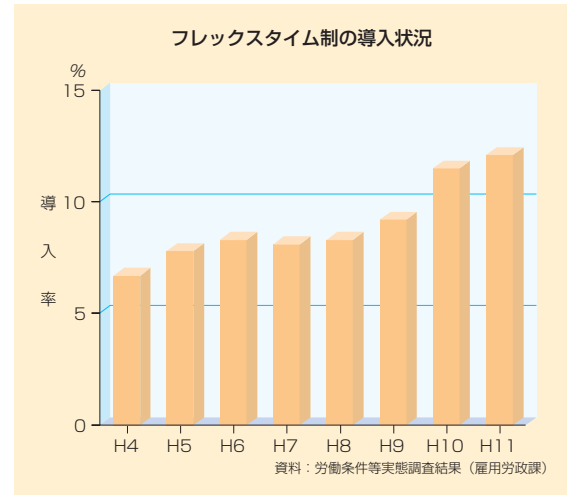


## 2-2-① 多様な選択を可能にする就業条件の整備

### 施策の基本方向

個人の生活に対する価値観や労働市場が大きく変化する中、働き方に関する県民の考え方も多様化しており、就業形態や雇用条件等について多様な選択を可能にする環境整備が求められています。

このため、就業についての選択の幅を広げるさまざまな雇用形態・制度等の普及や職業能力開発への支援に努めるとともに、就業形態の多様化に対応できる育児・介護制度の充実を図ります。



### 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
多様な就業形態を選択できる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>◆パートタイム労働法や労働者派遣法等についての普及啓発を図るとともに、パートタイム、契約労働、派遣労働者の労働条件の改善に向けた取組みを促進します。</li><li>◆フレックスタイムや在宅勤務など、柔軟な就業形態の普及を促進します。</li><li>◆非農家からの就農ニーズに対応できる第三セクター方式の農業法人などの育成を図ります。</li></ul>
職業能力開発への支援	<ul style="list-style-type: none"><li>◆各種職業訓練施設等において、ニーズに応じた多様な職業能力開発機会の提供を推進します。</li></ul>
就業形態の多様化に対応できる保育サービス等の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>◆延長保育や休日保育など勤労者の多様なニーズに応じた保育サービスを充実します。</li><li>◆育児援助のための会員組織であるファミリー・サポート・センターの設立を促進します。</li><li>◆勤労者のさまざまな就業形態に対応できるよう、介護サービスの充実を図ります。</li><li>◆ジェンダーフリーの原則を徹底しながら、育児休業・介護休業制度の普及を図るとともに、育児・介護休業制度の充実について関係機関等に働きかけます。</li><li>◆女性勤労者が経済的な不利益を受けることなく育児時間を要求できるよう、関係団体等に働きかけます。</li></ul>



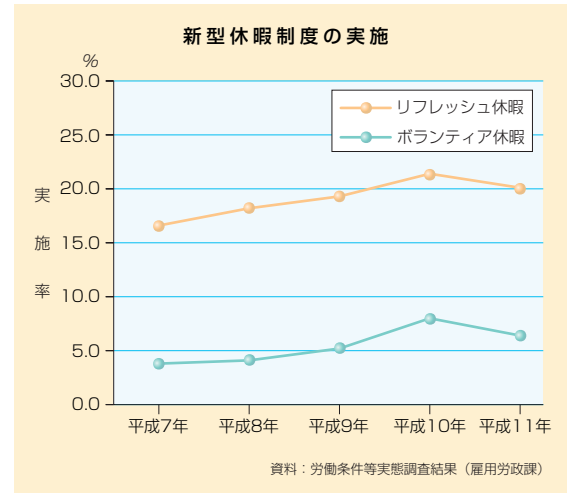
子どもの迎え（保育所）



## 2-2-② 働きやすい環境づくりと労働福祉の充実

## 施策の基本方向

雇用・労働環境が大きく変化する中で、勤労者一人ひとりが持てる能力を発揮し、いきいきと働くことができるよう、社会変化に対応した雇用環境の整備や働きやすい職場づくりを進めるとともに、勤労者福祉の充実を図ります。



## 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
社会の変化に対応した雇用環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆雇用慣行の変化による労働力の流動化等に対応するため、関係機関と連携しながら、中途採用者が働きやすい職場づくりなど新しい雇用環境の創造を進めます。</li> <li>◆年金制度改革に対応して65歳までの継続雇用や定年退職者の再雇用制度などを推進するため、普及啓発や各種助成金制度の活用等を図ります。</li> </ul>
働きやすい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆職場環境の一層の改善のため、労使懇談会や労働相談の充実等を図るとともに、労働安全衛生思想の普及啓発に努めます。</li> <li>◆女性が妊娠、出産、育児を理由として差別的に取り扱われることのないよう、普及啓発等に努めます。</li> <li>◆育児休業、介護休業、企業内保育施設等の普及促進に努めるとともに、育児・介護休業中の勤労者の生活安定を図るための融資制度の充実を図ります。</li> <li>◆パートタイム労働指針等の周知と普及促進に努めます。</li> </ul>
勤労者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆勤労者財産形成促進制度や中小企業退職金共済制度への加入を促進するとともに、勤労者互助会が勤労者の福利厚生の実現のために実施している各種共済事業を支援します。</li> <li>◆中小企業勤労者福祉サービスセンターの設立及び広域化を促進します。</li> <li>◆ボランティア休暇やリフレッシュ休暇などの普及を促進するとともに、勤労者の文化活動に係る学習・発表機会の充実に努めます。</li> <li>◆未組織労働者融資制度の適切な運用を図るとともに、労働者信用基金の充実強化を支援します。</li> <li>◆地域保健と職域保健との十分な連携により、勤労者の生活習慣病予防対策を重点的に推進するとともに、職場における心の健康づくりや分煙対策を推進します。</li> <li>◆勤労青少年の交流や自己啓発の場として勤労青少年ホームの利活用を促進します。</li> </ul>



病院内保育所（医療法人朋友会しのぶ病院）

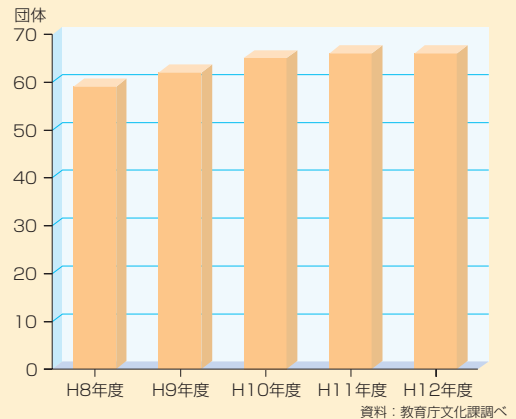


## 2-2-③ 安らぎをもたらし個性あふれる文化の創造と伝承

### 施策の基本方向

心の豊かさや安らぎが実感できる地域社会の形成に向けて、個性あふれる地域文化を創造していくため、県民の芸術・文化活動の充実や文化を育む環境づくりを進めるとともに、先人の足跡である文化財の保護・継承と活用を図ります。

福島県芸術文化団体連合会加盟団体数の推移



### 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
芸術・文化活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆県民が、優れた芸術・文化にふれる機会や日頃の文化活動の成果を発表する機会の拡充に努めるとともに、全国的規模の文化イベントの本県での開催について検討します。</li> <li>◆(財)福島県文化振興基金を通じ各種文化活動への支援を行うなど、各種文化団体等の育成強化に努めるとともに、優れた文化活動に対する顕彰制度の充実を図ります。</li> </ul>
文化を育む環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域に伝わる文化資源を活用しながら郷土に対する関心を高めるとともに理解を深め、地域への誇りに根ざした新たな文化の創造を進めます。</li> <li>◆地域や世代、ジャンル等を越えた多様な文化交流を促進するなどして、県民の文化意識を培うとともに、文化に関わる情報の迅速・的確な提供・発信に努め、文化活動への県民の積極的な参加を促進します。</li> </ul>
文化財の保護・継承と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆文化財の保存や指定のための各種調査の充実を図るとともに、市町村の文化財保護体制の充実を促進します。</li> <li>◆埋蔵文化財の発掘調査体制の整備を進めるとともに、埋蔵文化財調査員の資質向上を図ります。</li> <li>◆民俗芸能の後継者や文化財の保存技術者等の育成を図ります。</li> <li>◆市町村が実施する史跡整備や復元を支援するとともに、その有効活用を促進します。</li> <li>◆県の収蔵する文化財資料の充実と活用促進を図るとともに、県民が身近に文化財に親しむ機会を拡充するなどして文化財愛護意識の醸成に努めます。</li> </ul>



福島県民俗芸能大会



おかあさん劇団の公演



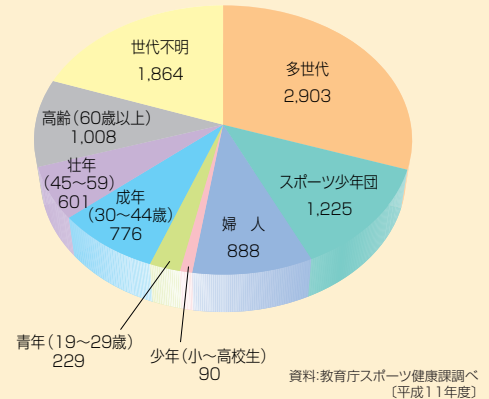
## 2-2-④ 生涯にわたるスポーツライフの実現

## 施策の基本方向

スポーツは、健康づくりの基盤となるだけでなく、家族の絆を深めたり、地域コミュニティを活性化する上でも大きな役割を持っています。また、高齢者や障害者の生きがいづくりや社会参加を促進する上でも重要な意義を持っています。

こうしたスポーツ文化を地域に根づかせ、ゆとりや豊かさを実感できるライフスタイルを創出するため、高齢者や障害者を含めて誰もが親しめる生涯スポーツの普及・振興を図るとともに、県民の自信や誇りの向上につながる競技スポーツの振興を図ります。

県内スポーツクラブの状況(クラブ数)



## 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
生涯スポーツの普及・振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆スポーツに親しむことの意義についての普及啓発を図るとともに、各種情報の提供や相談体制の整備充実を図ります。</li> <li>◆県民が身近にスポーツに親しむことのできる場の整備に努めるとともに、県民が手軽に参加することのできるスポーツ教室やスポーツイベントの開催に努めます。</li> <li>◆地域におけるスポーツ活動の基盤として、子どもから高齢者までさまざまな人々が気軽に参加できる地域スポーツクラブの育成を図ります。</li> <li>◆県民へのスポーツの普及とその促進のため、(財)福島県スポーツ振興基金を通じ生涯スポーツ振興活動に対する支援を行います。</li> </ul>
高齢者や障害者のスポーツ振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢者や障害者が年齢や能力に応じていつでもスポーツを楽しむことができるよう、数多くの種類の新しいスポーツの導入を推進します。</li> <li>◆高齢者や障害者向けの各種スポーツイベントを開催するとともに、指導者養成や団体育成に努めます。</li> <li>◆(財)福島県障害者スポーツ協会を通じて障害者スポーツの普及を図るとともに、その活動に対する支援を行います。</li> </ul>
競技スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆本県スポーツの競技力向上のため、優れた指導者の養成・確保に努めるとともに、スポーツ医科学についての研究・研修機能や相談指導体制の整備充実に努めます。</li> <li>◆優れた競技者を育成するため、競技ごとに一貫した指導体制を整備するとともに、競技力向上と人材養成のための国内外との交流を促進します。</li> <li>◆ふくしま国体時に整備したスポーツ施設の有効活用を図るとともに、県民に国内外の一流のスポーツにふれる機会を提供するため、各種スポーツイベントの誘致を図ります。</li> </ul>



国際交流員の指導(ラグビー)



障害者スポーツ教室(スキー)

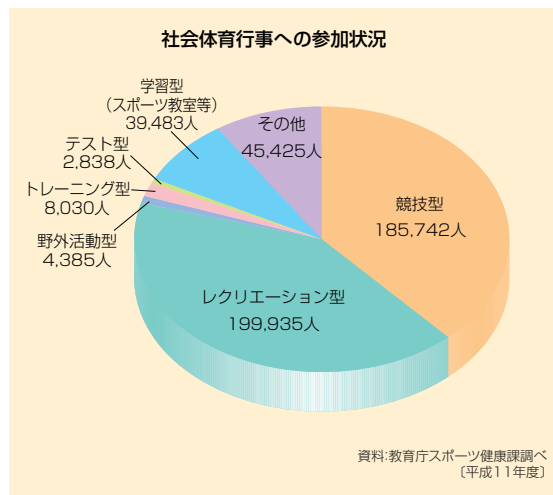




## 2-2-⑤ 多彩なレクリエーション活動の推進

### 施策の基本方向

余暇時間の増加が見込まれる中で、本県の資源を生かしながら、すべての県民が多彩なレクリエーションを楽しむことができるよう、レクリエーション活動への参加を促進するための環境整備を進めます。



### 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
レクリエーション活動への参加促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆レクリエーション活動の普及とレクリエーション情報の提供に努めます。</li> <li>◆指導者の養成・確保と活用を図るとともに、市町村レクリエーション組織等の整備充実に努めます。</li> <li>◆各市町村の多彩な交流資源を活用したグリーン・ツーリズムの推進に努めます。</li> </ul>
誰もが参加できる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢者や障害者を含めて誰もが気軽にレクリエーション活動を楽しめるよう、さまざまな機会提供に努めます。</li> <li>◆高齢者や障害者の心身の健康保持や社会参加の促進等のため、老人クラブ等関係団体の実施する多様なレクリエーション活動を支援します。</li> </ul>
レクリエーション活動の場の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆豊かな自然を生かした野外体験の場や緑豊かな都市公園など多様なレクリエーション活動の拠点となる場の整備を進めます。</li> </ul>



グリーン・ツーリズム (わら細工)



障害者レクリエーション教室



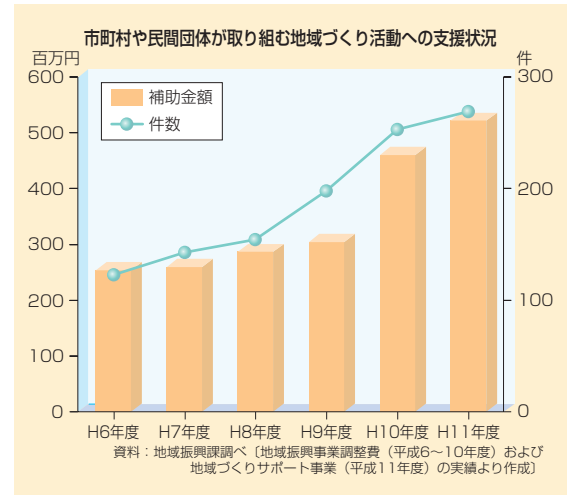
グラウンドゴルフ

## 2-2-⑥ 多様な主体の参加と連携による地域づくり活動の活性化

## 施策の基本方向

新しい時代の地域づくりは、地域住民やボランティア、NPOなど多様な主体の参加と連携によって進めていくことが必要です。

このため、地域の持つ多様な資源や特性を生かしながら、個性的で魅力あふれる地域づくり活動が展開されるよう、さまざまな条件整備を進めます。



## 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
活力ある地域づくり活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆成熟した、新しい時代にふさわしい地域社会を築いていくため、地域住民やボランティア、NPO、企業等と連携しながら、参加型の地域づくりを推進します。</li> <li>◆市町村や各種団体に地域づくりアドバイザー等を派遣するとともに、子どもから高齢者までの各世代の交流や地域間の交流、さらには外国文化との交流などさまざまな交流機会の拡充に努めます。</li> <li>◆地域の特性や課題を踏まえて地域づくり団体等が主体的に行う多様な地域づくり活動を積極的に支援します。</li> <li>◆ボランティアやNPO等の地域づくり活動情報を双方向で提供・共有する情報ネットワークの構築を支援するとともに、地域づくり活動についてのあらゆる相談等に対応できる総合的な支援機能の整備について検討します。</li> </ul>
NPO等と行政との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害時の対応やともに生きる福祉社会づくりなど、行政だけでは十分に対応できない分野において、NPO等を対等なパートナーとした協力関係を積極的に構築していきます。</li> <li>◆住環境の整備計画の策定に積極的に地域住民の参加を求めるなど、計画策定段階から地域づくりへの住民参加の促進に努め、地域づくり活動の活性化を図ります。</li> </ul>
コミュニティ活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コミュニティ活動の優良団体の表彰等により、コミュニティ活動の普及に努めます。</li> <li>◆各種の地域づくり事業と連携を図りながら、コミュニティ活動に関する啓発や情報提供を行い、誰もがコミュニティ活動に参加できるような環境づくりを推進します。</li> <li>◆自主的な地域活動を促進するため、地域の特性に応じたコミュニティセンター等の施設整備や学校などの各種公共施設、民間施設の活用を促進します。</li> </ul>
広域的な地域振興への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆広域市町村圏が地域の一体的な振興整備のために策定する計画づくりへの助言や調整を行うとともに、その計画に基づいて市町村等が実施する各種の施策に対する支援を行います。</li> <li>◆広域市町村圏が自主的・主体的に多様な地域振興事業に取り組むことができるよう、ふるさと市町村圏基金の造成等を支援します。</li> </ul>



地域づくりサポート事業の取り組み



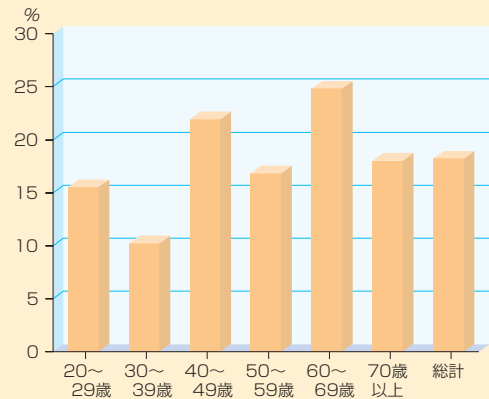
## 2-3-① 総合的な健康づくり活動の推進

## 施策の基本方向

県民一人ひとりの健康寿命を延伸し、健康で活力ある社会を築くため、セルフケア意識の高揚や健康づくりに関する正しい知識の普及を図るとともに、栄養・運動・休養のバランスのとれた健康づくりに手軽に取り組めるよう健康づくり支援体制の整備に努めます。

また、喫煙対策や薬物乱用防止対策等の推進を通じて健康づくりを支える社会・生活環境の整備に努めます。

質・量ともにきちんとした食事をとっている人の割合



資料：国民栄養調査結果（平成7～10年度）を元に健康増進課が作成

## 施策の展開

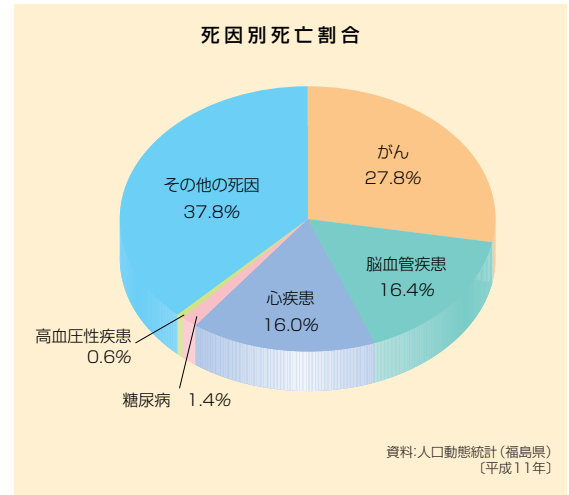
項 目	施 策 の 方 向
健康づくりの普及啓発と情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校、地域、職場等と連携を図りながら、正しい食習慣の形成や運動習慣の定着、休養の意義などについて、県民の理解を深めるとともに認識を高めるための普及啓発を進めます。</li> <li>◆住民に対する健康づくり支援サービスの提供についての県と市町村との役割分担を明確化するとともに、相互の連携強化による事業推進に努めます。</li> <li>◆県民一人ひとりが、自らの健康観に基づいて主体的に健康づくりに取り組めるよう、市町村におけるライフステージに応じた健康教育・健康相談サービスの拡充を支援します。</li> <li>◆県民の健康づくり意識を醸成するため、各分野にわたる県民全体の健康水準についての具体的目標を掲げ、その達成に広く取り組む県民運動を展開します。</li> <li>◆生活習慣の改善など健康づくりのための各種情報を総合的に県民に提供できる情報システムの整備について検討します。</li> </ul>
健康づくり支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域保健、学校保健、職域保健の総合的な連携体制を強化し、生涯を通じた健康づくりを支援します。</li> <li>◆健康づくりをはじめとした身近な保健サービスの拠点である市町村保健センターの設備等の充実と多面的な利用を促進します。</li> <li>◆地域保健の広域的・専門的・技術的拠点である保健所機能の充実強化を図り、市町村の健康づくり推進活動を支援します。</li> <li>◆地域保健体制の再編により、県と市町村との役割分担が明確化されたことに伴い、これに対応できる保健所施設の整備を計画的に推進します。</li> </ul>
喫煙対策等の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公共施設や職場等における分煙を促進するとともに、未成年者や妊婦の喫煙防止対策を進めます。</li> <li>◆建材や家具類から室内に発散される化学物質や住まいの害虫・細菌等による健康被害についての正しい知識の普及啓発に努めます。</li> </ul>
薬物乱用の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆薬物乱用による健康被害について広く県民に周知するとともに、学校や地域とも連携しながら、効果的な乱用防止対策や乱用者の社会復帰の支援により、薬物乱用を根絶する社会環境の整備に努めます。</li> <li>◆覚せい剤などの薬物犯罪に対しては、関係機関相互の連携による水際対策の徹底や専門捜査体制の整備などにより、取締りの強化を図ります。</li> </ul>



## 2-3-② ライフステージや疾病に応じた保健予防対策の充実

## 施策の基本方向

社会生活環境の著しい変化等により、生活習慣病の増加や心の健康問題など、疾病形態の多様化が進んでいるため、乳幼児期から高齢期に至るまでの各ライフステージに応じた健康管理の充実に努めるとともに、それぞれの疾患の特性に応じたきめ細かい保健予防対策の充実を図ります。



## 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
母子保健対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆子育てを支援するため、医療扶助の一層の充実に努めるとともに、市町村が実施する母子保健事業の充実を支援します。</li> <li>◆育児不安の解消に向けた相談体制や思春期保健対策の充実に努めます。</li> <li>◆不妊に対する保健対策の充実を図るとともに、ハイリスク妊婦や身体障害児、未熟児等に対する専門的な保健サービスの充実に努めます。</li> </ul>
成人・老人保健対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生活習慣病の予防のため、子どもの頃から健康な生活習慣が形成されるよう普及啓発を進めます。</li> <li>◆生活習慣病に関する各種健康診査の精度管理の向上や検診従事者の資質向上を図るとともに、受診しやすい検診体制づくりを進めます。</li> <li>◆健康教育や機能訓練など市町村が実施する老人保健事業の充実を支援するとともに、寝たきり等の予防に向けた総合的な取組みを進めます。</li> <li>◆老人保健と、地域・職域保健との連携を深めながら、壮年期以降の総合的な保健対策を推進します。</li> </ul>
精神保健対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆心の健康づくりに関する正しい知識の普及に努めるとともに、各種相談体制の充実を図ります。</li> <li>◆精神障害者に対する保健指導の充実に努めるとともに、精神保健対策に関する全県的な拠点として精神保健福祉センターの機能充実に努めます。</li> <li>◆精神障害者の社会復帰を支援するための施設整備を促進するとともに、地域社会全体で精神障害者を支える意識の醸成に努めます。</li> </ul>
歯科保健対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆人生80年時代にふさわしい歯科保健思想の普及啓発に努めるとともに、市町村の歯科保健事業の充実を支援します。</li> <li>◆障害者や要介護高齢者に対する口くう保健指導や歯科医療サービスの充実を図ります。</li> </ul>
難病対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆医療費の自己負担の軽減を図るとともに、在宅療養患者に対する訪問指導等の充実に努めます。</li> </ul>
結核・感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆結核その他の感染症の予防知識の普及に努めるとともに、予防や検診等に携わる技術者の資質向上、発生動向調査体制や衛生公害研究所における検査体制の整備及び発生時対策の強化を図ります。</li> <li>◆エイズに関する正しい知識の普及啓発に努めるとともに、患者等の受入れ体制の整備を図ります。</li> </ul>

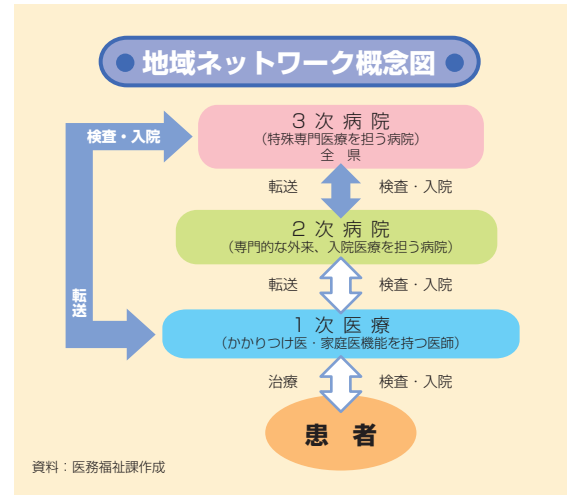


## 2-3-③ 保健医療提供体制の整備充実

### 施策の基本方向

県民がいつでもどこでも適切な保健医療サービスを受けられるよう、地域における身近なサービスから高度で専門的な医療に至るまでの総合的な保健医療提供体制の整備を推進します。

また、緊急時や災害時における救急医療体制の充実や、医療に恵まれない地域における医療の確保に努めます。



### 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
地域保健医療体制の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ かかりつけ医を中心とした身近な診療から、入院医療や専門外来医療、さらには高度で特殊な診断・治療に至るまで、各段階に応じた医療機関の分担及び相互の連携強化に努めます。</li> <li>◆ 医療資源の適正配置や効率的活用に配慮しながら、医療機関の施設・設備の一層の整備を推進します。</li> <li>◆ 地域医療の確保と医療サービスの向上を図るため、県立病院の改築や施設・設備の充実等を図ります。</li> </ul>
救急医療体制の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 休日・夜間の急病患者への診療から、重症救急患者への入院治療、さらには、重篤救急患者への24時間体制の高度医療までの各段階に対応できる体系的な救急医療体制の整備に努めます。</li> <li>◆ 救命救急センターの施設・設備の充実及び未整備地域の解消に努めるとともに、県内全域を対象エリアとしてより重篤な患者の救命医療を行う高度救命救急センターの整備について検討します。</li> <li>◆ 救急患者に対する搬送途上での救急救命処置を支援する体制を整備するとともに、より効果的な搬送システムの整備について検討を進めます。</li> <li>◆ 救急業務に従事する医師等に対する研修や救急隊員に対する教育訓練の充実に努めるとともに、搬送途上で救急救命処置を行う救急救命士の養成を促進します。</li> <li>◆ 高規格救急車の配備の促進や救急資機材の充実に努めるとともに、県民に対して応急手当に関する知識の普及を図ります。</li> <li>◆ 救急医療情報システムの充実に努めるとともに、システムの的確な運用により、医療機関と搬送機関との迅速かつ円滑な連携の確保に努めます。</li> <li>◆ 災害時における医療救護活動が迅速かつ適切に行われるよう、災害医療センターの整備を推進するとともに、災害医療従事者に対する研修や訓練の充実に努めます。</li> <li>◆ 災害時に必要な救急医療資器材や医薬品等の備蓄供給体制の整備を図ります。</li> </ul>
高度・専門・特殊医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 医療資源の効率的な活用に配慮しながら、地域の高度・専門・特殊医療を担う医療機関の施設等の整備を促進します。</li> </ul>



消防防災ヘリによる救急患者の搬送



項 目	施 策 の 方 向
末期医療の取り組み へき地医療の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆周産期医療についての地域格差を十分にカバーし、妊娠、出産から新生児に至る一貫した医療サービスを提供できる周産期医療体制の構築に努めます。</li> <li>◆在宅療養中の重症難病患者に対して、適時・適切に高度医療を提供できる体制の整備を図ります。</li> <li>◆県立医科大学医学部附属病院の施設・設備の一層の充実を図り、県民へのより高度で専門的な医療サービスの提供に努めます。</li> <li>◆移植医療について、広く県民への普及啓発を推進するとともに、骨髄バンク等へのドナー登録を促進します。</li> <li>◆末期医療の在り方に関する県民の関心を高めるため、関係情報の提供等に努めます。</li> <li>◆自治医科大学における医師の養成とへき地医療機関への配置を行うとともに、県立医科大学や関係団体の協力の下、へき地勤務医師の確保に努めます。</li> <li>◆へき地診療所等の施設整備を図るとともに、テレビ電話による遠隔医療や診断画像電送システムによる後方病院からの支援体制の整備を促進します。</li> <li>◆関係機関を相互に情報ネットワークで結び、新たな総合的へき地医療支援システムの構築について検討します。</li> <li>◆へき地医療支援センターの充実や医師ローテーションシステムの確立など、へき地における中核的病院を拠点とした支援体制の充実を図ります。</li> </ul>



テレビ電話を使った遠隔医療

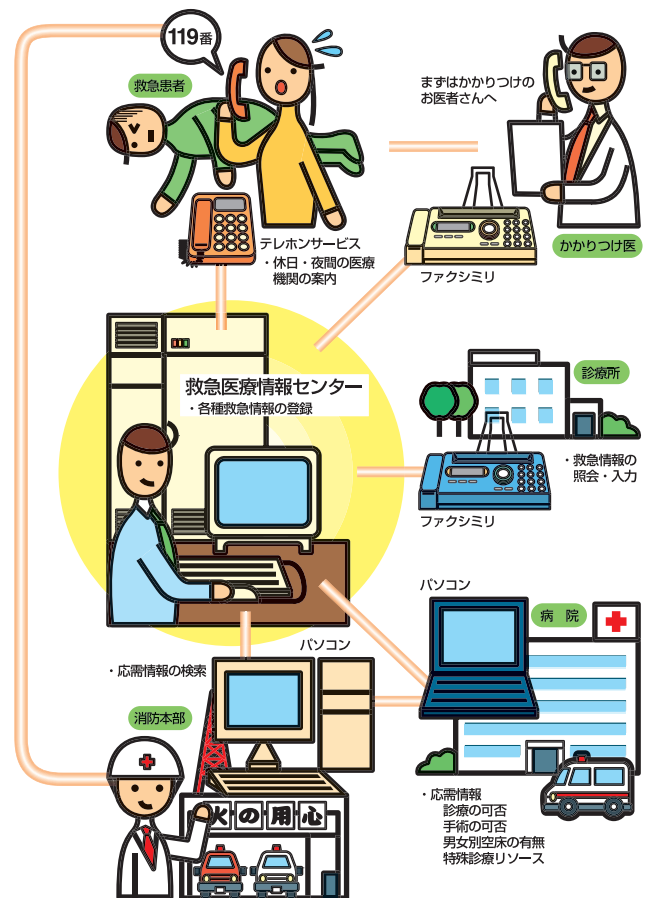
新生児医療（NICU）



県立大野病院の完成予想図



県立病院の最新の医療機器（CT）



救急医療情報システム

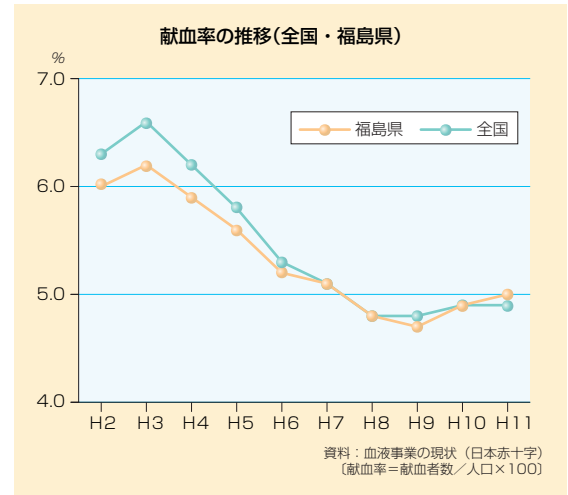




## 2-3-④ 医薬品の安全対策等の推進

### 施策の基本方向

適切な医療を確保するため、医薬品の有効性・安全性の確保や医薬分業を推進するとともに、県内で必要な血液は県民の献血でまかなうことを基本に血液の安定的確保に努めます。



### 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
医薬品の有効性・安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆薬事監視体制の充実強化と監視員の資質の向上に努めるとともに、医薬品等の製造や販売などの承認・許可に係る審査体制の充実強化と迅速化に努めます。</li> <li>◆消費者に対して、薬についての正しい知識の普及啓発に努めます。</li> <li>◆市販医薬品の副作用等に関する情報の収集・提供に努めるとともに、苦情相談体制の充実を図ります。</li> </ul>
医薬分業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆薬の重複投与や副作用等を防止するため、かかりつけ薬局の定着を図るなど、患者のための適切な医薬分業の推進に努めます。</li> </ul>
安定的な血液の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆輸血用血液等の確保を図るため、善意の献血についての普及啓発に努めるとともに、献血者が献血しやすいような受入れ体制の整備を図ります。</li> <li>◆安全面からもメリットの大きい自己血輸血の普及に努めるとともに、医療機関に対して、血液製剤の有効利用や適正使用の徹底を図ります。</li> </ul>



かかりつけ薬局と薬剤師



街頭献血



全血献血



献血マスコット  
「キビチーちゃん」

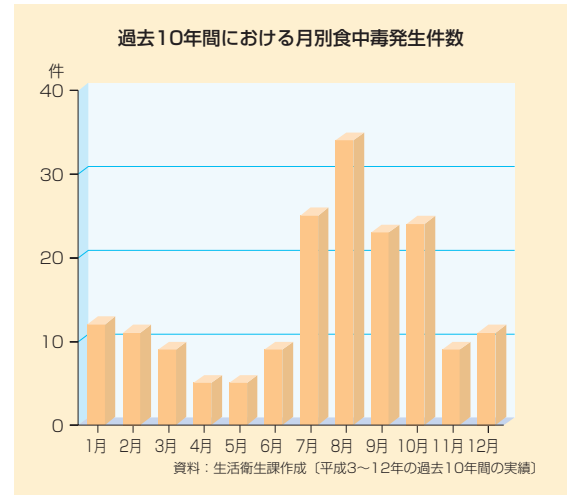


成分献血

## 2-3-⑤ 生活衛生等の確保

## 施策の基本方向

衣食住全般にわたって安全で安心できる生活を確保するため、食品衛生の確保や衛生的な生活環境の確保に努めます。  
また、人と動物との共生を推進します。



## 施策の展開

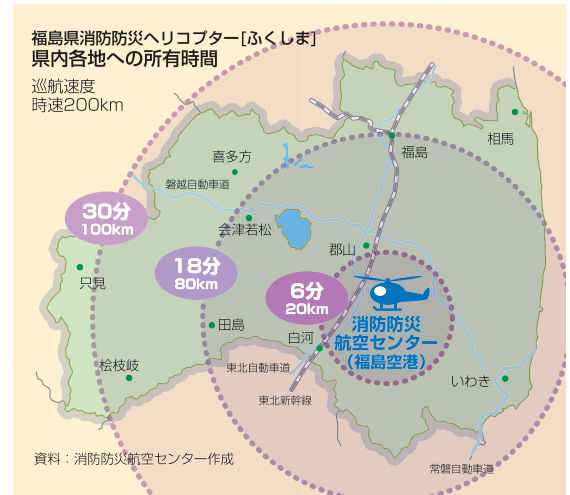
項 目	施 策 の 方 向
食品等の安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆食品に含まれる有害化学物質の検査を強化するとともに、食品添加物の適正使用に関する指導を充実し、食品の安全性の確保に努めます。</li> <li>◆農薬の適正使用を推進するとともに、農薬の使用量を削減する技術の確立と普及に努める一方、残留農薬等による食品汚染の防止対策の充実に努めます。</li> <li>◆食品製造業者、卸売市場等に対する監視・検査体制の充実強化に努めるとともに、HACCP（危害分析・重要管理点）方式を取り入れた自主的な衛生管理体制の確立を支援します。</li> <li>◆農林水産物の生産流通段階における衛生管理意識の定着化と衛生管理に配慮した生産出荷体制の整備を促進します。</li> <li>◆と畜場及び食鳥処理場における適切な検査を実施するとともに、衛生指導を強化し、営業者自らによる管理体制の確立を支援します。</li> <li>◆食中毒の防止を図るため、食中毒発生率の高い業種や広域流通食品の製造施設、大型食品販売店等に対する監視指導の強化に努めます。</li> <li>◆食品衛生や食中毒の防止に関する正しい知識の普及啓発に努めるとともに、関係情報の収集・提供の一層の充実に図ります。</li> </ul>
衛生的な生活環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆理・美容業など県民の日常生活に関係の深い営業施設の衛生水準の向上を図るため、衛生監視の強化に努めるとともに、関係団体と連携しながら営業者の自主的な衛生管理を促進します。</li> <li>◆多くの人が利用する建築物や遊泳用プールの衛生的な環境を確保するため、監視指導の充実強化に努めます。</li> <li>◆家庭用品に含まれる化学物質による健康被害を防止するため、試買検査や監視指導の充実強化に努めます。</li> <li>◆年々気密化が進む住宅などの衛生環境の確保について、正しい知識の普及啓発に努めます。</li> </ul>
人と動物との共生の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆人と動物の共生のため、動物愛護思想の普及に努めるとともに、狂犬病などの人畜共通感染症の予防対策を推進します。</li> <li>◆ペットの飼養管理に関する正しい知識の普及啓発により、人と動物とのふれあいを増進するとともに、不適正な飼養による苦情の発生や安易な処分の減少を図ります。</li> </ul>



## 2-4-① 総合的な消防・防災体制の整備

### 施策の基本方向

阪神・淡路大震災や平成10年8月末豪雨災害の教訓を踏まえ、大規模化、複雑・多様化する災害から県民の生命・財産を守るため、総合的な防災体制の整備に努めるとともに、消防力の充実や災害に強いまちづくりを推進します。



### 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
総合的な防災体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆県防災会議を中核として、防災関係機関や市町村との連携を深め、社会の変化に的確に対応できる総合的な防災対策を進めます。</li> <li>◆県民の防災意識の向上を図るとともに防災活動担当職員の能力を高めるため、県民参加による総合防災訓練等を実施します。</li> <li>◆県総合情報通信ネットワークを適切に運用して災害関係情報等の的確な収集・伝達に努めるとともに、現行ネットワークの更新について検討を進めます。また、インターネットや携帯電話を活用し県民に対して迅速な災害情報提供に努めます。</li> <li>◆消防防災ヘリコプターを活用した広域的・機動的な消防防災活動の充実を図るとともに、災害現場での情報収集や人命救助活動を行う県警察災害警備先遣隊の充実強化を図ります。</li> <li>◆さまざまな災害や事故・事象の発生に対応できる危機管理体制の整備を図ります。</li> </ul>
大規模災害対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆震災等の大規模災害の発生に備え、県民に対して食料等の備蓄や災害弱者の安否確認等について協力を求めるとともに、防災教育や避難訓練の充実に努め、防災意識の一層の高揚に努めます。</li> <li>◆大規模災害時における避難・医療救護・被災者の生活再建対策等の充実強化や高齢者・障害者などの災害弱者に対する支援の充実に努めるとともに、ボランティア団体との連携を図ります。</li> <li>◆地震や洪水などの災害時における障害者等への緊急情報配信システムの整備に向けた検討を進めます。</li> <li>◆大規模災害時における他都道府県との相互協力体制の充実強化に努めるとともに、県庁舎が被災した場合を想定し、県郡山合同庁舎の改築にあわせて県災害対策本部の代替機能と通信機能の整備を行います。</li> <li>◆広範囲かつ大規模な災害の発生時に、被災地の医療スタッフや資器材等の要請情報や支援都道府県の提供情報などをリアルタイムで収集・交換できるシステムの整備を進めます。</li> </ul>



災害ボランティア



項 目	施 策 の 方 向
防災対策の充実と 消防力の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆県民一人ひとりの防火意識の高揚を図るとともに、自主防災組織等の育成強化を図ります。</li> <li>◆消防職員等の資質向上のため、県消防学校の改築と教育訓練機能の拡充強化に努めます。</li> <li>◆消防機関等と連携し、防火対象物の安全確保指導を推進するとともに、より高能力な消防ポンプ車や救助工作車など消防資機材の整備充実に努めます。</li> <li>◆消防団の活性化を図るため、処遇の改善や施設・装備等の充実に努めるとともに、女性団員の参加促進を図ります。</li> </ul>
災害に強いまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害時に救護活動拠点や避難場所としての機能を果たす都市公園の整備を促進するとともに、救援物資等の受入れ拠点となる防災港湾の整備を推進します。</li> <li>◆地震後の建築物の安全度の判断を行う応急危険度判定士の養成を行うとともに、建築物の耐震診断や改修を促進します。</li> <li>◆災害時に拠点施設となる県有施設について耐震性能の向上を図るとともに、防災資機材の備蓄体制の充実に努めます。</li> <li>◆洪水や土砂災害等のハザードマップの作成や河川流域情報システムの活用等により、洪水や土砂災害の発生時における迅速かつ的確な防災活動や避難の支援に努めます。</li> <li>◆土砂災害のおそれのある区域への住宅等の新規立地を抑制するとともに、既存住宅の移転等を促進します。</li> <li>◆渇水や水質事故発生時における迅速な対応を図るため、利水者・自治体間の連携強化に努めます。</li> </ul>
危険物等の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆危険物取扱事業所における保安体制の確立を促進するとともに、危険物取扱者の資質向上に努めます。</li> <li>◆高圧ガスや火薬類の製造所・販売所・消費場所等に対する保安指導の徹底と自主保安の推進を図ります。また、火薬類についての盗難や不正流通防止指導の強化に努めます。</li> </ul>



消防防災ヘリによる救助訓練



小学校の避難訓練



防災訓練



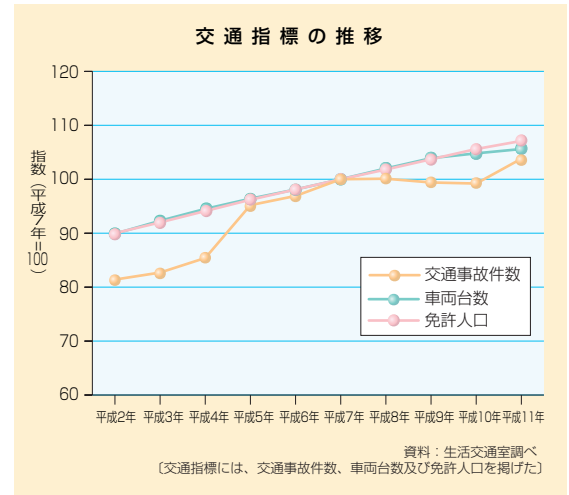
総合情報通信ネットワーク



## 2-4-② 交通安全対策の推進

### 施策の基本方向

車両台数・運転免許人口の増加や高速交通体系の整備の進展等の中で、より安全で円滑な交通の実現のため、県民の交通安全意識の高揚や道路交通環境の整備を図るとともに、安全運転の確保に努めます。



### 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
交通安全意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆県民総参加による交通安全運動を組織的に展開するとともに、各種団体等の協力を得ながら地域における交通安全指導者の育成に努めます。</li> <li>◆市町村や関係団体等と連携しながら、幼児期から高齢期に至るまでの各段階に応じた参加・体験型の交通安全生涯教育を推進します。</li> <li>◆段階的・体系的な交通安全教育を実施するため、さまざまな体験機能を備えた実践的な交通安全教育機能の整備について検討します。</li> </ul>
道路交通環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆交通管制システムの高度化や交差点の改良、道路情報提供システムの整備等により、道路交通の円滑化に努めます。</li> <li>◆駐車場や駐車場案内システムの整備等を促進するとともに、違法駐車を排除する機運の醸成に努め、安全で円滑な道路交通の確保に努めます。</li> <li>◆交通事故多発地点における道路環境の分析に基づいた施設・設備の整備を推進するとともに、高齢者や障害者の利用に配慮した安全な歩道等の整備を促進します。</li> <li>◆都心部や観光地における慢性的な交通渋滞を解消するため、交差点の改良や標識の整備等を推進します。</li> <li>◆住民参加による道路環境の点検結果に基づいて、地域密着型の安全な道路整備を推進します。</li> </ul>
安全運転の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆運転免許更新時講習や高齢運転者技能講習等を通じて優良運転者の育成に努めます。</li> <li>◆重大事故につながる危険度の高い交通違反や住民に強い不快感を与える暴走行為に対する取締りを強化します。</li> </ul>



疑似体験による交通安全教育



交通安全パレード



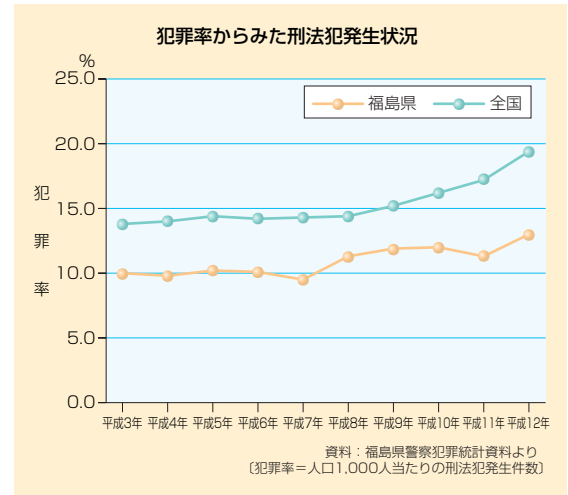
暴走行為の取締り



## 2-4-③ 地域安全活動の推進

## 施策の基本方向

複雑・多様化する社会情勢を反映し、犯罪の凶悪化や広域化が進むとともに、新しい形態の犯罪も増加している中で、県民の安全を確保し、安心して暮らすことのできる社会を実現するため、地域の安全機能の強化や住民に密着した地域安全活動の推進に努めるとともに、時代の変化に的確に対応できる警察活動の推進を図ります。



## 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
地域安全機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆県民の地域安全意識の高揚を図るとともに、地域住民の自主的な安全活動に対する支援を行います。</li> <li>◆地域や職域の防犯団体の拡充強化やセキュリティ産業の健全育成を図ります。</li> <li>◆犯罪防止に配慮した住環境づくりの普及・浸透を図ります。</li> </ul>
住民に密着した地域安全活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆住民からの困りごと相談への対応強化や住民に対する身近な地域安全情報の提供に努めます。</li> <li>◆関係団体等と連携して地域内の住宅や車両等に対する防犯診断・指導の充実強化を図るとともに、自転車盗難や痴漢など住民が不安を感じている身近な犯罪の予防・検挙に努めます。</li> <li>◆女性や子どもを対象とした防犯活動の充実に努めるとともに、一人暮らしの高齢者などに対する訪問活動や事業所訪問による防犯指導など警察官の巡回活動の充実に努めます。</li> </ul>
時代の変化に対応した活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ハイテク犯罪など新しい形態の犯罪への対応力の強化を図るとともに、無差別型の犯罪や悪質商法など被害が広範囲に及ぶ犯罪の拡大防止と早期解決に努めます。</li> <li>◆暴力団排除に向けた県民の意識醸成や暴力団に対する取締りの強化に努めます。</li> </ul>



防犯ボランティアによる声かけ



子ども110番の家（避難の家）



インターネットを使ったハイテク犯罪

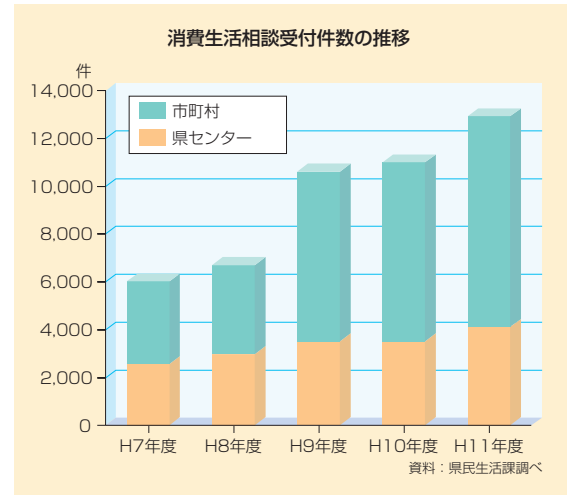




## 2-4-④ 消費者の自立支援と被害の未然防止

### 施策の基本方向

消費者を取り巻く環境が多様化・複雑化する中で、真に豊かな暮らしを実現するため、自ら考え、行動する消費者を育成するとともに、消費者被害の救済と未然防止を図ります。



### 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
合理的な消費行動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆消費生活に関する各種講座・研修会等の充実を図るとともに、新聞・テレビ等を活用した啓発活動を推進します。</li> <li>◆学校教育段階から、児童生徒に消費者問題に関する基本的な知識の学習機会の提供に努めるとともに、消費者団体の育成を図ります。</li> </ul>
情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆インターネット等の活用により、消費生活関連情報の収集・提供機能の強化を図ります。</li> <li>◆生活に密接な関連のある物資の価格動向や需給状況の把握及び消費者への情報提供を行うとともに、必要に応じて価格・需給の安定化対策を実施します。</li> </ul>
消費者の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆消費者被害を未然に防止するため、国や市町村との連携を図りながらトラブル等に関する相談体制の充実等に努めます。</li> <li>◆商品の安全性を確保するため、商品テスト等を実施するとともに、商品表示や広告、計量などの適正化を図るための調査・指導の適切な実施に努めます。</li> <li>◆消費者信用に関する正しい知識の普及啓発に努めるとともに、苦情やトラブルについての相談体制の充実や、業界等の健全な発展を図るための指導に努めます。</li> </ul>



消費生活に関する研修

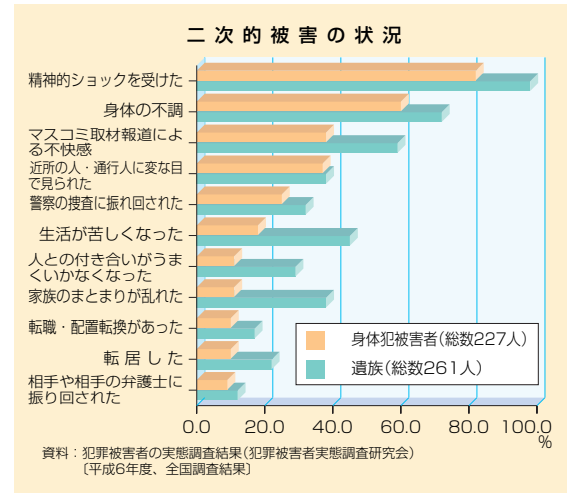


## 2-4-⑤ 被害者等支援の推進

## 施策の基本方向

事件・事故の被害者やその家族は、身体的・経済的・精神的にさまざまな被害を受けて社会的に孤立することが少なくありません。

このため、関係機関との連携の下、被害者等に対する総合的な支援を推進します。



## 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
被害者等支援活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ストーカーや夫からの暴力など顕在化しにくい被害に関する相談体制の充実を図るとともに、被害の相談や届出がしやすい環境づくりに努めます。</li> <li>◆ 犯罪被害に関する刑事手続きや法的救済制度の内容などについての情報提供に努めるとともに、職員に被害者支援についての専門的な知識・技能を修得させるために教育・研修機会の充実を図ります。</li> <li>◆ 関係機関と連携して、家庭内での暴力・虐待の被害者の早期救済に努めます。</li> <li>◆ 交通事故の被害者等の救済のため、交通事故相談による支援を推進するとともに、交通遺児等に対する援護施策の充実にも努めます。</li> </ul>
再被害防止活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 犯罪被害者に対する保護対策を組織的に推進し、再被害の発生防止に努めます。</li> <li>◆ 妻などに対する常習的な暴力事案に関する再発防止プログラムの研究を行います。</li> </ul>
精神的被害の軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 犯罪捜査過程における被害者の精神的苦痛の軽減を図るため、プライバシーや人権に配慮した施設、車両、資機材などの整備を図ります。</li> <li>◆ 精神的被害の大きい被害者に対しては、早い段階からカウンセリング等の専門的なケアを行い、精神的回復を支援します。</li> </ul>
関係機関・団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 被害者支援関係団体との連携により、被害者支援に対する社会機運の醸成に努めるとともに、被害者のニーズに応じた支援活動を推進します。</li> </ul>



福島県被害者等支援連絡協議会







## 2-4-⑥ 原子力発電所周辺地域の安全確保と防災対策の充実

### 施策の基本方向

本県は全国有数の原子力発電所立地県であり、周辺地域の安全確保は県政の最優先課題の一つです。

このため、安全確保対策の一層の強化を図るとともに、原子力発電に対する県民の理解を得るための広報活動の充実に努めます。

また、事故等の不測の事態に備え、県民に不安を与えないよう万全の防災対策を講じます。



### 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
安全確保対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆安全確保協定に基づいて原子力発電所への立入り調査や適切な措置要求等を行い、地域住民の安全確保を図ります。</li> <li>◆原子力発電所周辺地域においてテレメータシステムによる環境放射線の常時監視を行うとともに測定データを一般公開します。</li> <li>◆原子力発電所周辺の土壌、飲料水、農畜産物、海産物等の環境試料や食肉、卵、果物等の市場流通食品について定期的に放射能の分析測定を行い、その結果を公表します。</li> <li>◆原子力発電所からの温排水が前面海域の漁業資源に及ぼす影響を把握するため、定期的な調査を行い、その結果を公表します。</li> </ul>
普及啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各種広報媒体を通じて、広く県民に原子力発電に関する基礎的な知識や県の安全確保対策に関する情報提供を行います。</li> <li>◆原子力発電所立地町等の住民に対し、対象者に応じたきめ細かな広報の実施に努めるとともに、より親しまれる広報をめざして原子力センターの展示内容の充実に努めます。</li> </ul>
防災対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆通報連絡体制を一層強化するとともに、県総合情報通信ネットワーク等の通信手段を活用した情報提供体制の充実に努めます。</li> <li>◆原子力防災訓練の実施及び防災業務従事者や住民を対象とした講習会の開催などを通じて、原子力災害や原子力防災体制に対する知識の普及に努めます。</li> <li>◆放射線測定機器、放射線防護服等の防災資機材の一層の充実を図るとともに、汚染検査や被ばく治療に関する緊急時医療体制の整備を行います。</li> <li>◆緊急時においては、現地のオフサイトセンターを拠点として、国・関係町・事業者等関係機関と一体となった対策を行います。</li> </ul>



福島県原子力発電所安全確保技術連絡会



モニタリングポスト



テレメータシステム

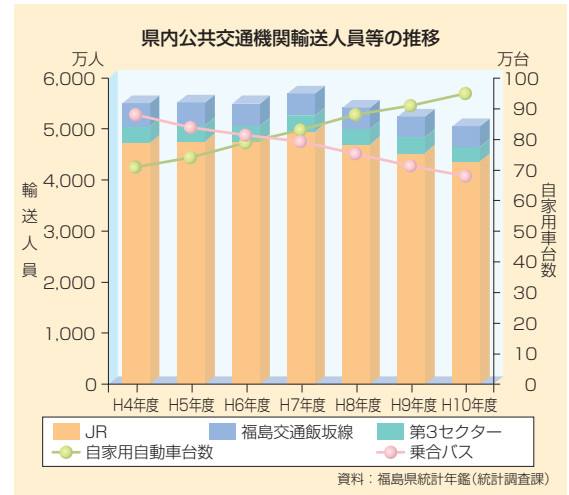


## 2-5-① 地域内交通ネットワークの整備

## 施策の基本方向

全国有数の広大な面積と多様な地理的・自然的条件を有する本県においては、県土の均衡ある発展と県民生活の利便性向上のため、地域内交通ネットワークの整備を図り、日常生活圏における県民の足を確保することが重要課題です。

このため、道路網の計画的な整備を図るとともに、鉄道やバスなどの公共交通の確保とサービス水準の向上に努めます。



## 施策の展開

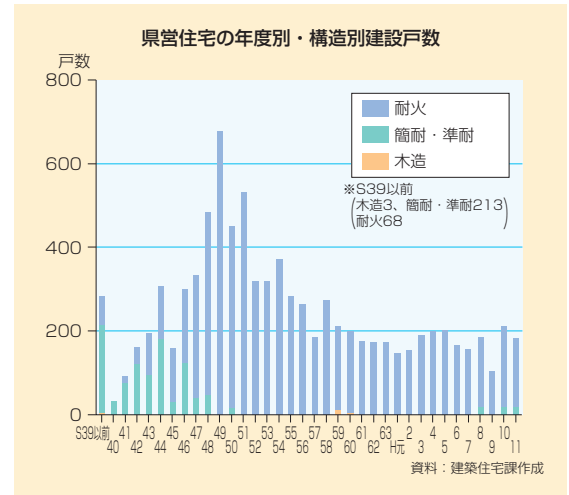
項 目	施 策 の 方 向
道路網の計画的整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国道等幹線道路の整備との整合性を図りながら、生活圏の一体性を高める県道の整備を推進するとともに、住民生活の利便性を高める市町村道の整備を促進します。</li> <li>◆都市の骨格となる環状・放射道路や円滑な都市内交通を支える幹線道路の整備を図ります。</li> <li>◆国や公安委員会、市町村等と連携しながら県内主要都市や観光地における渋滞解消のための道路整備を進めます。</li> </ul>
安全で快適な道路環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆安全で円滑な地域内交通を確保するため、道路の拡幅や交差点の改良、踏切の立体化、老朽橋や落石等の危険箇所の解消等に努めるとともに、歩行者・自転車の安全に配慮し、また、大雨・積雪・凍結時対策を強化した道路整備に努めます。</li> <li>◆快適な道路環境を整備するため、迷わず、わかりやすい道路や景観に配慮した道路の整備に努めます。</li> <li>◆道路の持つ防火・防災機能や交流空間としての機能、緩衝・通風・採光などの環境空間機能等の発揮に配慮した道路整備に努めます。</li> </ul>
道路の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆道路を常時良好な状態に保ち、一般交通に支障を及ぼさないよう、適切な維持修繕に努めます。</li> </ul>
冬期交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆積雪地域における円滑な冬期交通の確保のため、歩道を含めた道路の除排雪体制の充実を図るとともに、道路防雪施設、消融雪施設、流雪溝等の整備や冬期交通不能区間の解消に努めます。</li> </ul>
鉄道輸送サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆線形改良、軌道強化、複線化等による在来線のスピードアップを促進するとともに、新幹線との接続ダイヤの改善などに努め、利用者の利便性の向上を図ります。</li> <li>◆利用客の需要見込みや関係市町村等の取組み状況などを勘案しながら新駅の設置を促進します。</li> <li>◆沿線住民の足の確保や地域振興を図るため、第三セクター鉄道である阿武隈急行線、会津線、会津鬼怒川線について、沿線住民の利用動向等を総合的に勘案しながら関係自治体等との連携の下に支援を行います。</li> </ul>
バス輸送サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆バス利用者の利便性の向上のため、バスロケーションシステムやバスカードシステムの導入などを促進します。</li> <li>◆都市部における路線バスの走行環境を改善し、定時性を確保するため、バス優先レーン等の整備を促進するとともに、パーク・アンド・バスライドの導入などについて検討を進めます。</li> <li>◆関係市町村や地元の意向、取組みなどを踏まえながら、県民の日常生活に欠かすことのできないバス路線の維持・確保に努めます。</li> </ul>



## 2-5-② 良好な居住環境づくり

### 施策の基本方向

少子・高齢社会への対応を進めるため、公的部門と民間部門の適切な役割分担の下、高齢者向けの良質な住宅ストックの形成やファミリー向けのゆとりある住戸の供給を図るとともに、良好な環境空間を備えた居住環境づくりを推進します。



### 施策の展開

#### 項 目

#### 施 策 の 方 向

良質な住宅ストックの形成

- ◆良質な住宅の建設促進のため、広く県民に対して、住まいに対する意識の向上やゆとりある生活の実現のための啓発を進めるとともに、住宅に関するさまざまな情報の提供に努めます。
- ◆新築住宅の瑕疵保証制度の定着化や住宅性能表示制度の利活用促進を図り、県民が安心して良質な住宅を取得できる環境の整備に努めます。
- ◆高齢者やファミリー向けの良質な民間賃貸住宅の建設を促進するとともに、中堅所得層を対象として適正な家賃の良質な住宅の供給を促進します。
- ◆既存の住宅ストックについては、耐震性、高齢者・障害者等の安全性、省エネルギー性の向上等のためリフォームその他の改善を促進します。
- ◆公営住宅については、高齢者仕様化や高齢者の優先入居措置等を実施するとともに、福祉や医療等関係する分野との連携の強化や住宅の質の向上に重点を置きながら、計画的に建設やリフォームを推進します。



良好な居住環境の住宅団地

良好な住環境の整備

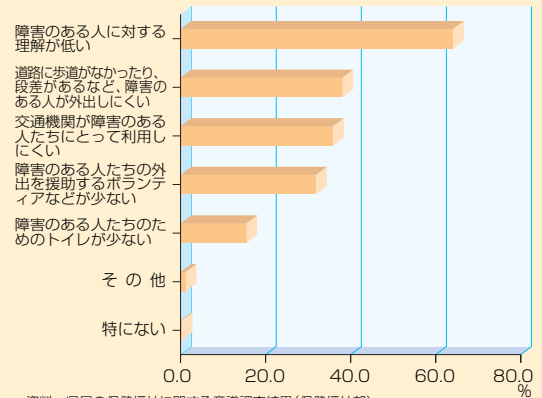
- ◆緑やオープンスペースの核となる都市公園を整備するとともに、子どもの遊び場や住民の交流の場となる身近な公園や緑地等の整備を推進します。
- ◆風致地区における良好な緑地や樹林の適切な保全を図るとともに、地域住民の協力を得ながら住宅市街地の緑化を推進します。
- ◆住環境上緊急に改善を行う必要性が高い老朽住宅密集市街地を重点として、道路、公園、水辺等良好な環境空間を備えた住宅市街地の再整備を促進し、安全で快適な都市居住を推進します。
- ◆都市近郊において、無秩序な市街地の進行やスプロール地域の発生を未然に防止するため、土地区画整理事業を推進するなど都市基盤の先行的な整備を図ります。
- ◆地域特性を生かした住環境整備を推進するとともに、多様な住まい方としての田園居住等の条件整備を推進します。
- ◆住民参加による住宅マスタープランの策定を通じて、地域の特色と独自の発想を生かした個性豊かな住宅・住環境の整備を推進します。

## 2-5-③ あらゆる分野のバリアフリー化の推進

## 施策の基本方向

ノーマライゼーションの理念の下、高齢者や障害者、妊婦や子ども連れの人など、誰もが安全で快適に過ごせるまちづくりを進めるため、あらゆる分野にわたるバリアフリー化を推進します。

障害のある人たちが社会参加しにくい理由



## 施策の展開

## 項 目

## 施 策 の 方 向

公共施設等のバリアフリー化の推進

- ◆人にやさしいまちづくり条例に基づき、高齢者や障害者を含め、すべての人の利用に配慮した建築物等の整備を推進します。
- ◆公共施設や駅周辺の歩道を中心に拡幅や段差の解消を行い、すべての人にとって安全で歩きやすい歩行環境の整備を推進します。
- ◆高齢者や障害者の利用頻度の高い公共施設の周辺エリアについては、交通安全施設の重点的整備や高齢者等に配慮した交通規制を行うなどして高齢者等の安全対策の強化に努めます。



ノンステップバス

- ◆県有施設については率先してバリアフリー化に取り組むとともに、市町村施設についても率先したバリアフリー化を促進します。

公共交通施設のバリアフリー化の推進

- ◆高齢者や障害者等の移動の円滑化を図るため、鉄道駅へのエレベーター等の設置やノンステップバスやリフト付きバス等の導入などを促進します。

住まいのバリアフリー化の推進

- ◆室内の段差解消や車椅子に対応できる空間の確保など高齢者や障害者の生活に配慮した住宅の整備を支援するため、住宅改造に関する相談・指導体制を整備するとともに、介護保険からの給付や低利融資により、住宅改修費の調達を支援します。

水辺空間のバリアフリー化の推進

- ◆人々の癒しや交流の場でもある水辺空間について、高齢者や障害者でも安心して利用できるよう環境整備を進めます。

啓発活動の推進

- ◆高齢者や障害者の身体上のハンディキャップについての県民理解の促進に努め、さまざまな分野や場面における障壁の除去に対する県民意識の高揚に努めるとともに、あらゆる場面において最初から障壁を感じさせない生活空間づくりを推進します。

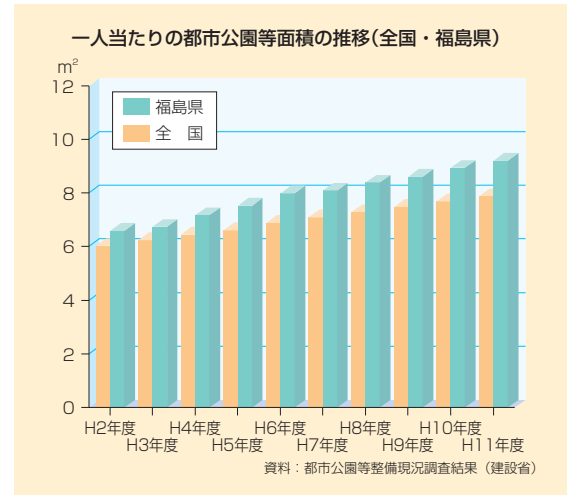




## 2-5-④ ゆとりと潤いに満ちた美しい生活空間の整備

### 施策の基本方向

都市地域と農山漁村地域がともに快適性と地域の魅力を高めていけるよう、それぞれの地域特性を生かした、ゆとりと潤いのある生活空間の整備を図ります。



### 施策の展開

#### 項 目

良好な都市空間の整備

#### 施 策 の 方 向

- ◆駅前広場を核としたエリアにおいて土地の高度利用を進め、都市的な賑わいのあるまちづくりを進めます。
- ◆土地区画整理事業を推進し、良好な市街地の創出を図るとともに、住宅市街地の緑化を進めます。
- ◆緑地や公園、親水機能を持った水辺空間など人々が憩い、交流できる場の整備を進めます。
- ◆下水道の整備等により、快適な生活環境の整備と都市河川の再生を図ります。
- ◆すべての人々が安全で快適に利用できるコミュニティ道路や都市の歴史・文化等を生かした特色ある街路の整備を進めます。
- ◆車椅子利用者や歩行者が安心して通行できる歩道整備を進めます。
- ◆電線類の地中化を推進し、安全で円滑な交通の確保、良好な都市景観の形成、都市の防災性の向上など多面的な機能の発揮を図ります。
- ◆道路や都市公園の持つ防災機能を生かした防災性の高いまちづくりを進めます。
- ◆地区計画制度や建築協定制度を活用し、住民の参加により、地域の個性を生かした快適で魅力あるまちづくりを推進します。



せせらぎ水路と子どもたち

魅力ある農山漁村空間の整備

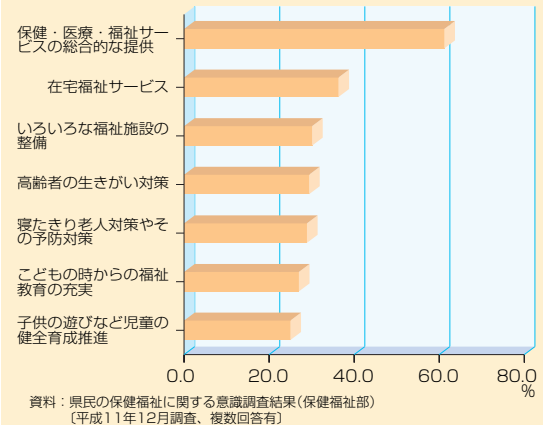
- ◆快適な生活環境を整備するため、水道施設、農業集落排水施設、集落排水路等の整備を進めます。
- ◆都市住民との交流の場となる農業体験施設や農村公園等の整備を進めます。
- ◆漁村の特性を生かした漁港公園、海浜公園等の整備を進めます。
- ◆農山村に広く存する農業用水路やため池を活用し、水辺空間として整備を図ります。
- ◆多目的ダム等を活用したレクリエーション空間の整備を進めます。
- ◆河川が本来持っている生物の良好な生育環境に配慮し、石などの天然素材の持つ機能を生かした多自然型川づくりを推進します。
- ◆農山村の景観形成に資する作物の栽培を促進し、美しい景観づくりを進めます。

## 2-5-⑤ 保健・医療・福祉の連携の推進

## 施策の基本方向

保健・医療・福祉サービスに対する住民ニーズが高度化・多様化する中で、住民に身近なサービスを提供する市町村と、広域的な調整や専門的なサービス提供を行う県とが、保健・医療・福祉の連携を図りつつ、適切に役割分担しながら、サービスを総合的かつ効果的に提供する体制の整備に向けて、必要な条件整備を進めます。

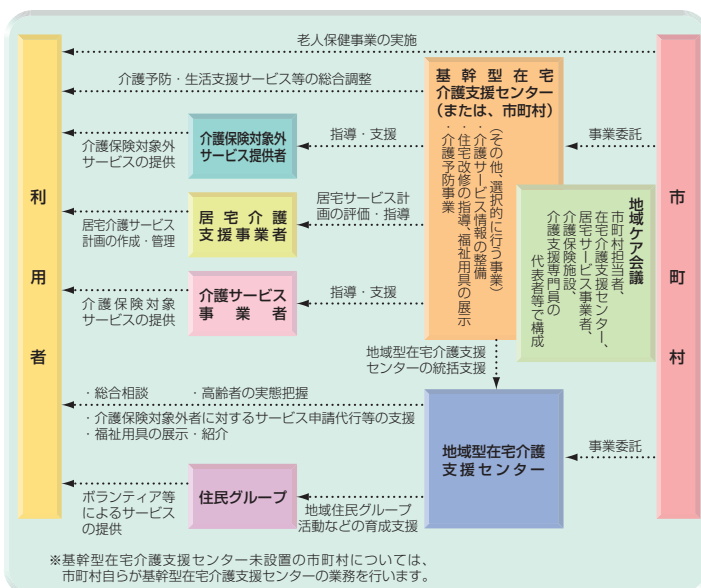
県が取り組むべき福祉施策(上位7項目)



## 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
保健・医療・福祉の連携のための環境づくり	◆保健・医療・福祉サービスの連携を推進するとともに、市町村を専門的・技術的に支援する体制の確立を図るため、保健・医療・福祉全般に通じた人材を養成・確保する機能、総合情報センター機能、市町村支援機能を併せ持つ、総合的な拠点機能の整備を図ります。
サービス総合化システムの確立	◆基幹型在宅介護支援センターにおいて、高齢者の介護予防や生活支援サービスの総合調整を行い、保健・医療・福祉の連携のとれたサービス提供を推進します。 ◆関係機関の連携の下、精神障害者、長期療養児、難病患者等に対して総合的なケアマネジメントを行い、保健・医療・福祉が一体となったサービスを提供するシステムの構築を図ります。
地域リハビリテーションの推進	◆地域における関係機関のネットワーク化を図り、保健・医療・福祉が連携したリハビリテーションが展開できる体制の整備を図ります。

在宅介護支援センターを中心とした地域ケア体制イメージ



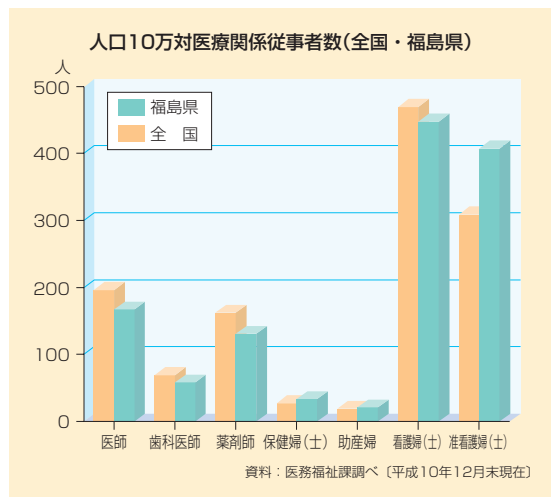
福島県保健・医療・福祉人材養成研修



## 2-5-⑥ 保健・医療・福祉人材の確保と資質の向上

## 施策の基本方向

高度化・多様化する保健・医療・福祉ニーズに対応できる人材の確保と資質の向上を図ります。



## 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
保健・医療・福祉人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆医師、歯科医師、看護職員などの保健医療スタッフの県内への定着化を促進します。</li> <li>◆福祉ニーズに対応できる人材として、社会福祉士、介護福祉士等の福祉専門職の養成・確保を図ります。</li> <li>◆増大する介護サービス需要に対応できるよう、介護支援専門員、訪問介護員等の養成を図ります。</li> <li>◆リハビリテーション需要の増大に対応するため、理学療法士や作業療法士の県内定着を促進します。</li> <li>◆自主的に福祉に携わるNPOなどの活動を担う人材の育成を支援します。</li> <li>◆県立医科大学大学院に看護学研究科を設置し、資質の高い看護専門職者の育成に努めます。</li> <li>◆県内の看護職員養成力の拡充強化に努めるとともに、看護職員養成施設の整備充実に努めます。</li> <li>◆県立の人材養成施設である総合衛生学院及び会津若松看護専門学院について、施設の老朽化・狭隘化が進んでいるため、早期に改築整備を進めます。</li> </ul>
保健・医療・福祉従事者の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆医師、歯科医師、看護職員などの保健医療スタッフの資質向上に努めます。</li> <li>◆プライマリーケアを推進するための研修・研究機会の確保に努めます。</li> <li>◆市町村や保健所等に配置されている保健婦や栄養士等の地域保健関係職員に対する研修を実施し、資質向上に努めます。</li> <li>◆社会福祉担当公務員や、市町村や地域における福祉従事者に対して体系的な研修を実施し、資質の向上を図ります。</li> <li>◆介護保険に係る認定調査員及び介護認定審査委員会委員に対して研修を実施し、公平・公正な要介護認定の確保を図るとともに、実務に携わる介護支援専門員や訪問介護員の資質向上を図ります。</li> </ul>



看護職員養成施設での実習



## 2-5-⑦ 地域の特性を生かすスポーツ・文化施設等の整備充実

## 施策の基本方向

高齢者や障害者も含めすべての県民が、スポーツやレクリエーション活動への参加機会を増やしていけるよう、スポーツ・レクリエーション施設等の整備に努めます。

また、個性ある地域文化の創造に向け、文化財やさまざまな芸術文化、歴史と風土に培われた伝統文化等に対する県民の関心や要望にこたえ、特色ある文化活動等を充実していけるよう、文化施設等の整備に努めます。

福島県における主な公共社会体育・スポーツ施設の状況

施設の種類			施設数	備 考
多目的運動広場	テニスコート	施設総数	166	10,000㎡以上
		総面積	130	10,000㎡未満
		全天候型	134	コート面積2,000㎡程度
	ゲートボール	総面積	551	テニス・ゲートボール等ができるコート
		屋 内	369 (内数)	
		屋 外	154	
地域体育館			41 (内数)	床面積720㎡以上
			136	
柔剣道場			128	床面積720㎡未満
			43	床面積300㎡程度
プール		総 数	90	25m×6コース以上
		屋 内	22 (内数)	
		温 水	18 (内数)	

資料：福島県公共社会体育・スポーツ施設調査結果(教育庁スポーツ健康課)  
(平成12年10月1日現在)

## 施策の展開

## 項 目

## 施 策 の 方 向

スポーツ・レクリエーション施設等の整備

- ◆公共スポーツ施設等を中心として、身近にスポーツ活動に親しめる場の整備・充実を図ります。また、学校体育施設について、地域住民のスポーツ・学習の拠点として開放するとともに、その機能が高まるよう夜間照明等の整備に努めます。
- ◆多様なスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる都市公園の整備を推進します。
- ◆アウトドアスポーツ等の野外活動を行う場として、自然環境や安全面などに配慮しながら、ウォーキング・トレイルやサイクリングロード等の整備を推進します。
- ◆利用者の立場に立った利用しやすい施設となるよう、利用時間の拡大や利用手続きの簡素化などを推進するほか、指導者資格を有する人間性豊かな指導者の配置を促進します。

文化施設等の整備

- ◆埋蔵文化財の収蔵保管や文化財の公開・活用等の機能を有する福島県文化財センター白河館の整備・利活用を図ります。
- ◆埋蔵文化財の発掘調査や無形文化財の調査研究等の機能を有する福島県文化財センター安達館（仮称）の整備を推進します。
- ◆海をさまざまな視点から紹介し、海に関する文化・学習機会を県民に提供するふくしま海洋科学館の利活用を促進します。
- ◆県立美術館や県立博物館については、県民に親しまれる施設として、展示内容や調査研究、教育普及事業の充実に努めます。
- ◆県文化センターについては、利用者の要望等に配慮しながら施設・設備の整備充実に努めます。
- ◆歴史資料として重要な県の公文書等の適切な保存・利用を図るため、公文書館の整備について類似施設の統廃合も含めその在り方について総合的に検討します。
- ◆施設の整備等にあたっては、施設のバリアフリー化や託児施設の整備等利用者の視点に立った魅力的な施設づくりに努めます。



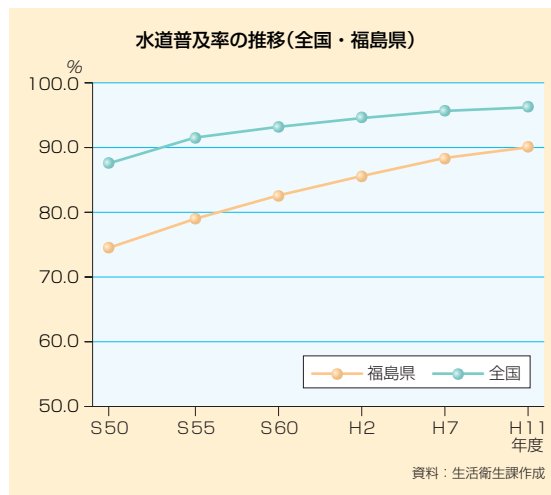
福島県文化財センター白河館（まほろん）（竣工図）



## 2-5-⑧ 生活水の確保と上水道の整備

## 施策の基本方向

生活様式の変化等に伴う生活用水需要の増大に対応し、安全でおいしい水を安定的に県民に供給できるよう、生活水の確保と上水道施設の整備を図ります。



## 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
生活水の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生活水の安定的供給や水道経営の健全化を図るため、企業団方式による広域水道施設の整備を促進します。</li> <li>◆限りある水資源の有効活用を図るため、水道施設の漏水防止対策等を促進するとともに、流域外導水等を含めた地域間の水の融通について検討します。</li> </ul>
上水道施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆県内における水道未普及地域の解消を図るとともに、需要に応じて施設設備の拡張等を促進します。</li> <li>◆ライフラインとして重要な水道施設の災害への対応力を高めるため、老朽管の更新等施設の改良を促進します。</li> <li>◆地域の実態に応じて水道事業の再編成等を推進し、水道施設の維持管理の充実を図るとともに、水道事業経営の健全化を促進します。</li> </ul>
安全な飲料水の供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆住民に安全でおいしい水道水を供給するため、水質検査や水道水源の水質状況に応じた高度浄水対策を促進します。</li> </ul>

福島地方水道用水供給企業団の浄水場(完成予想図)



膜ろ過装置による浄化システム



水管橋



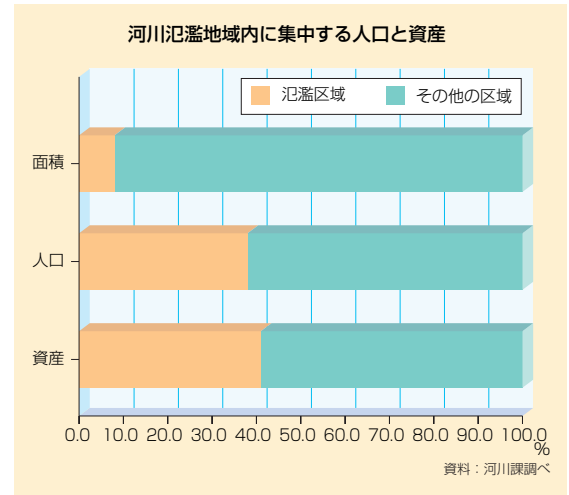
水道水の水質検査



## 2-5-⑨ 暮らしを守る自然災害対策の充実

## 施策の基本方向

自然災害から県民の生活と財産を守るため、治山対策、治水対策、海岸保全対策、砂防対策などを推進することにより、風水害や土砂・雪崩災害などの未然防止を図り、災害に強い安全な県土の形成に努めます。



## 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
治山対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆山地崩壊や地すべり等の山地災害を防止し、被害を最小限にとどめるため、人家集中地区及び重要なライフラインに近接する地域等できめ細かな治山対策を計画的に推進します。</li> <li>◆森林の持つ水資源のかん養、県土の保全等公益的機能が高度に発揮されるよう、適正な森林整備を推進します。</li> <li>◆水源地域の機能強化のため、治山ダム等の水土保持施設の整備や土砂流出防止対策等を推進します。</li> </ul>
治水対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆個々の流域の自然的・社会的特性を踏まえた総合的な治水対策を推進します。</li> <li>◆市街化の著しい都市河川や災害発生危険度が高い河川、及び土地利用動向からみて先行的な整備が必要な河川について、緊急性や有効性等を総合的に考慮し重点的整備を進めます。</li> <li>◆堤防等河川管理施設の適正管理を図るとともに、洪水発生時における迅速な情報収集と伝達を通じ水防活動や避難体制が速やかに図られるよう、福島県河川流域総合情報システムの有効活用を図ります。</li> </ul>
海岸保全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆海岸の侵食や高潮等による災害を未然に防止するため、海岸環境に配慮しながら、堤防や人工リーフなど海岸保全施設の整備を進めます。</li> <li>◆海岸の良好な環境を保全するとともに、周辺の景観や自然資源との調和を図りながら、海岸周辺の環境整備を進めます。</li> </ul>
土砂災害対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害から県民の生命と財産を守るため、土砂災害危険箇所等における砂防設備、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設の整備など総合的な土砂災害対策を推進します。</li> <li>◆土砂災害危険箇所等の住民への周知など情報提供を行うとともに、土砂災害に対する警戒・避難体制の整備を促進します。</li> </ul>



土砂流出防備兼保健保安林





項 目	施 策 の 方 向
<p>その他対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆豪雪地帯において積雪による障害を克服し安全な生活を守るため、雪崩防止施設や雪に強い道路の整備、多雪地域住宅計画づくりへの支援などを推進します。</li> <li>◆農地や林地の地すべり被害を未然に防止するための対策を講じるとともに、老朽化しているため池等土地改良施設の改修を推進します。</li> <li>◆災害時のライフラインとして重要な道路の安全性・信頼性を高めるため、道路施設等の防災対策を推進するとともに、災害時の拠点となる公共施設等へのアクセス道路のネットワーク強化に努めます。</li> <li>◆都市における雨水対策として、下水道事業による雨水渠の整備、透水性舗装の施工、雨水貯留・浸透施設の設置など保水・遊水機能の確保に努めます。</li> </ul>



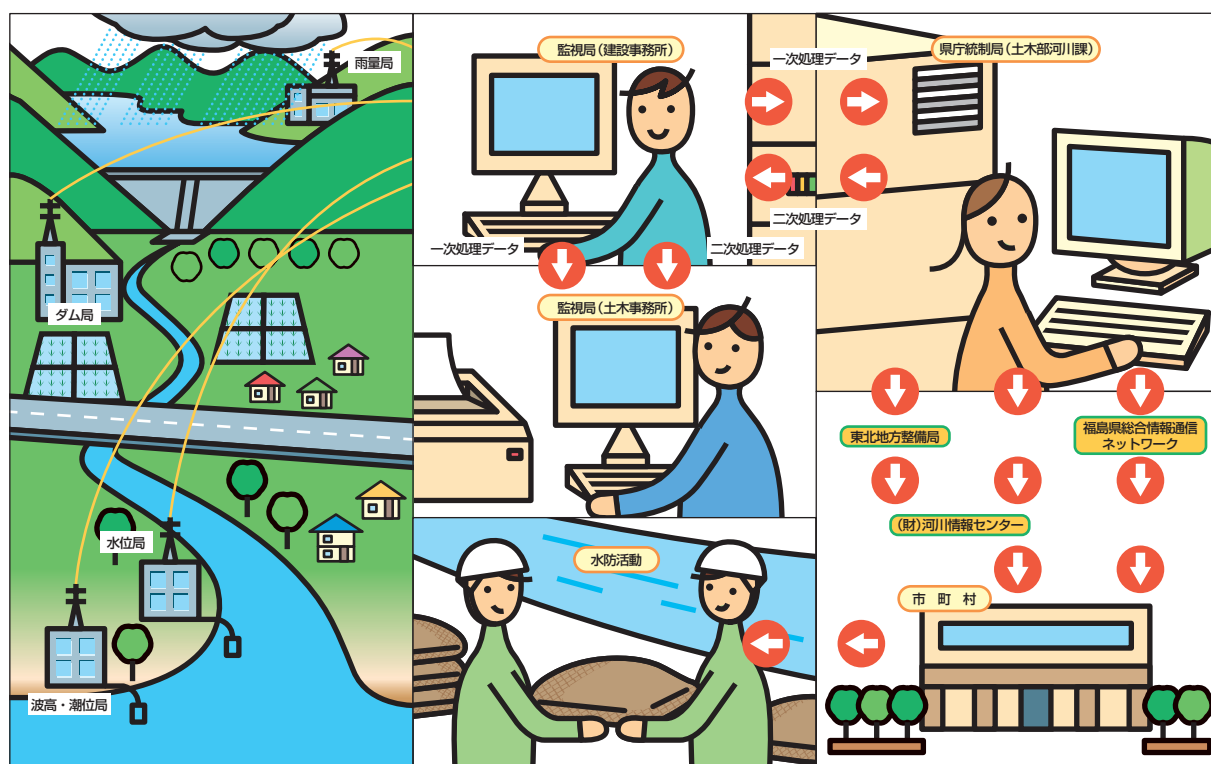
スノーシェッド

河川改修  
(堀川)



(復旧前)

(復旧後)



福島県河川流域総合情報システム

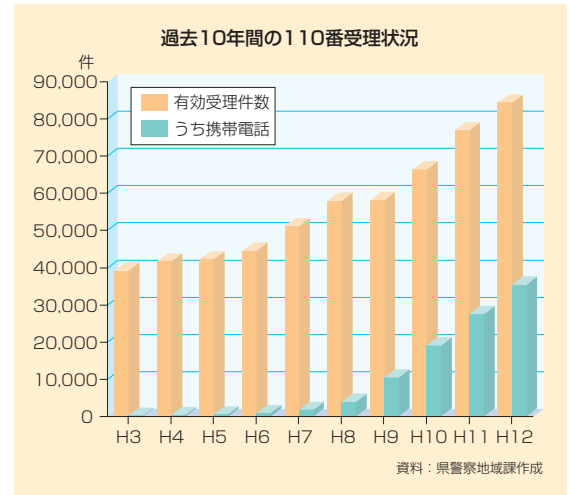
(注) 一次処理データ：水位・雨量の観測所のデータ  
二次処理データ：水位・雨量の図形処理のデータ

## 2-5-⑩ 時代の変化に対応できる警察活動基盤の整備

## 施策の基本方向

治安情勢の変化に的確に対応し、安全で安心できる県民生活を確認するため、警察活動基盤の整備を推進します。

また、県民の要望や意見を的確に警察活動に反映させるとともに、県民の理解と協力を得るための総合的な広報・広聴活動を推進します。



## 施策の展開

項 目	施 策 の 方 向
組織体制の整備と人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国際化の進展や高速交通体系の整備促進などの環境変化を踏まえ、新たな課題に対応できる警察力の確保に努めます。</li> <li>◆治安情勢への的確な対応と県民ニーズにこたえるため、組織、人員の効率的運用、職員の資質向上、業務の合理化・効率化、多様な人材の確保、女性警察官の職域拡大を図ります。</li> <li>◆治安情勢の変化に対応するため、捜査体制の充実を図るほか、専門捜査力、科学捜査力、国際捜査力等の強化・向上を図ります。</li> </ul>
警察施設・装備資機材の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆警察活動の拠点となる警察署、交番・駐在所等警察施設や警察車両等の装備資機材の整備を図ります。</li> <li>◆110番通報に迅速に対応するため、110番受理及び通信指令システムの高度化について検討します。</li> <li>◆災害発生時等における空からの情報収集を迅速に行うため、県内全域をカバーするヘリコプターテレビシステムの整備等について検討します。</li> </ul>
高度情報社会に対応できるシステムの確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆複雑・多様化する犯罪に対応するため、犯罪情報管理システム、捜査支援システム、高度性能分析機器等の整備を図ります。</li> <li>◆警察行政事務の効率化と県民サービスの向上を図るため、県警察情報管理システムの拡充整備等を進めます。</li> </ul>
効果的な警察広報と広聴活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆県民の困りごと相談に的確に対応するため、相談業務体制の一層の充実を図ります。</li> <li>◆県民各層の要望、意見等を的確に把握し、警察活動に反映させるための各種懇談会を開催します。</li> <li>◆テレビ・ラジオやインターネット等を効果的に活用し、広報活動の充実を図ります。</li> <li>◆県民と警察を結ぶ警察音楽隊を、各種イベントに派遣するなど効果的な広報活動を推進します。</li> <li>◆県民の警察に対する理解を深めるため、積極的な情報公開の推進と情報提供制度の充実に努めます。</li> </ul>



警察音楽隊